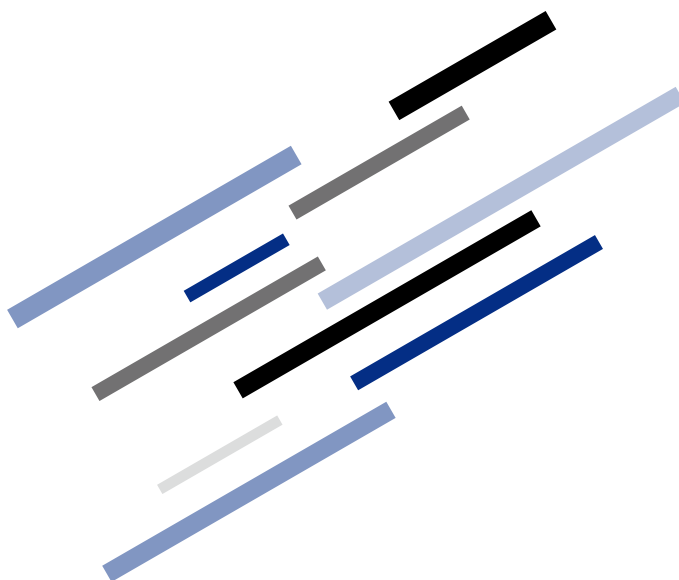
CSX500 SERIES

IMAGE SCANNER

取扱説明書

MANUAL NO.CSX500-UM-102

GRAPHTEC

安全に正しくお使いいただくために！

・ご使用の前に本編をよくお読みのうえ、安全に正しくお使いください。
・お読みになった後、いつでも見られる所に必ず保管してください。
・幼いお子さまには、機器をさわらせないでください。
・この機器は日本国内専用ですので海外では使用しないでください。
・ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。

絵表示について

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡、または重傷を負う危険が切迫して生じる場合が想定される内容を示しています。

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡、または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が傷害を負う可能性が想定される場合、および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

⚠ 記号は、注意（警告を含む）をうながす内容があることを示します。具体的な注意喚起内容を ⚠ の中や近くに絵や文章で示します。

⃠ 記号は、禁止（してはいけないこと）の行為であることを示します。具体的な禁止内容を ⃠ の中や近くに絵や文章で示します。

❗ 記号は、強制（必ずすること）の行為であることを示します。具体的な強制内容を ❗ の中や近くに絵や文章で示します。

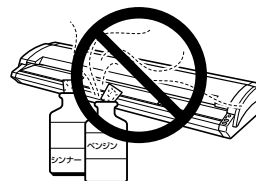
安全にお使いいただくために！

本機を安全にお使いいただくために、下記の項目を必ずお守りください。

■設置について

⚠警告

アルコール、シンナーなどの引火性溶剤の近くに設置しないでください。

● 引火性溶剤が機械内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。

機械の上に次のような物を置かないでください。

● これらが機械内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になることがあります。

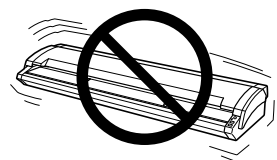
・ネックレスなどの金属物

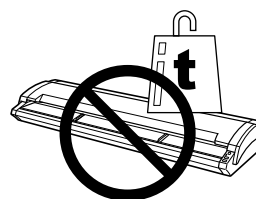
・コップ・花瓶・植木鉢など、水や液体が入った容器

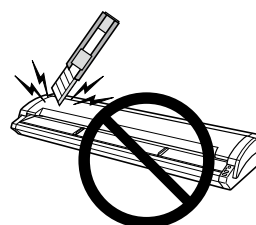
万一、これらが機械内部に入った場合は、直ちに電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてお買い求めの販売店または担当サービスに連絡してください。

⚠注意

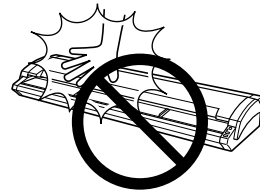
傾いた所など不安定な場所や振動の多い場所に設置しないでください。

● 倒れたりして、けがの原因になることがあります。

機械の上に重い物をのせないでください。

● 置いたものが倒れたり、落ちてけがの原因になることがあります。

本機の上で鋭利なものを使用しないでください。

● 本機の性能をそこない、誤操作・故障の原因となります。

本機の上で力をかけないでください。

● 本機の性能をそこない、誤操作・故障の原因となります。

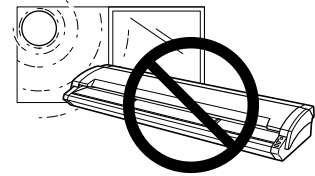
● けがの原因となります。

機械を次のような場所に設置しないでください。

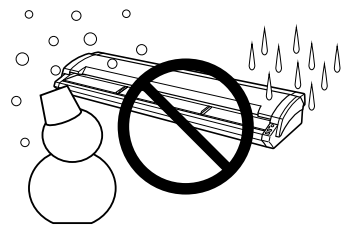
● 火災や感電の原因になることがあります。

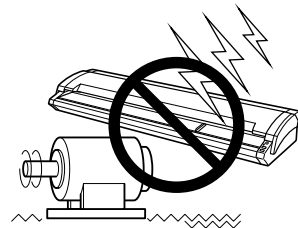
・湿気やほこりの多い場所

・直射日光のあたる場所

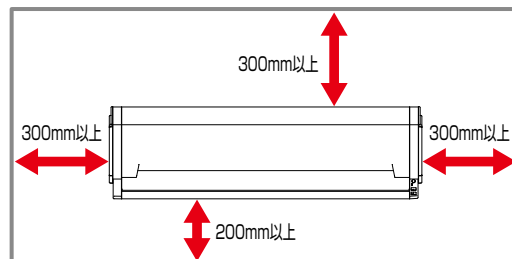
・高温の場所

・火気に近い場所、水気のある場所

仕様温度・湿度範囲外での保存・設置・使用はしないでください。

● 変形や傷みにより本機の性能をそこない、誤操作・故障の原因となります。

機械振動の激しい場所や、電気的雑音の多い場所での保存・設置・使用はしないでください。

● 本機の性能をそこない、誤操作・故障の原因となります。

設置スペースには、ゆとりをもってください。

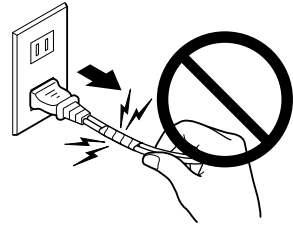
● 機械の前後には、操作に十分なスペースをとってください。

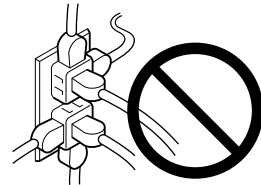
デスクトップでの使用

■電源について

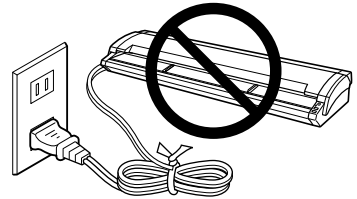
⚠警告

電源コードを傷つけたり、加工したりしないでください。また、重いものをのせたり、電源コードをひっぱったり、無理に曲げたりしないでください。

● 傷ついた部分から漏電して、火災や感電の原因になります。

● 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因になります。

タコ足配線は行わないでください。

● 火災や感電の原因になります。

電源コードを束ねたり、結んだりしないでください。

● 火災や感電の原因になります。

電源プラグはコンセントの奥までしっかりと差し込んでください。

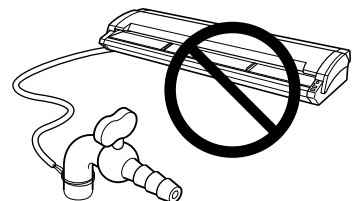
● しっかりと差し込まないと、火災や感電の原因になります。

同梱されている電源コード以外は使用しないでください。

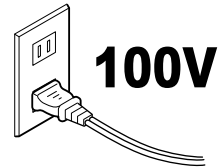
● 火災や感電の原因になります。

アース線を接続するときは、以下の点にご注意ください。

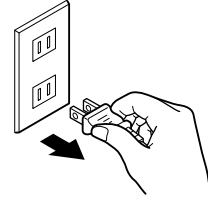
● ［アース線を接続してよいもの］
・コンセントのアース端子
・接地工事（D種）が行われているアース端子

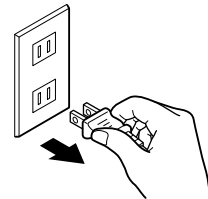
● ［アース線を接続してはいけないもの］
・水道管
配管の途中でプラスチックになっている場合があり、その場合にはアースの役目を果たしません。
ただし、水道局がアース対象物として許可した水道管にはアース線を接続できます。
・ガス管
ガス爆発や火災の原因になります。
・電話線のアースや避雷針
落雷のときに大きな電流が流れ、火災や感電の原因になります。

⚠注意

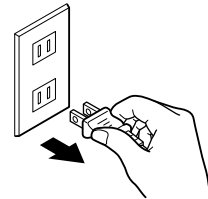
AC100Vの電源・電圧で使用してください。

● AC100Vの電源・電圧で使用しないと、火災や感電の原因になることがあります。

電源コードを抜き差しするときは、本機の電源スイッチを切って行ってください。

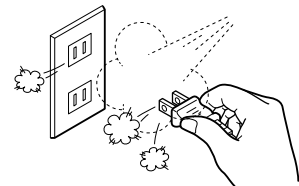
● 本機の性能をそこない、誤操作・故障の原因となります。

● 感電の原因となります。

電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。

● 電源コードを引っぱると、電源コードの芯線の露出・断線など電源コードが傷つき、その部分から漏電して、火災や感電の原因になることがあります。

お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

● 感電の原因となります。

電源プラグにホコリや金属物を付着させないでください。

● ホコリが付着している場合は、よく拭きとってください。

● 火災・感電の原因となります。

原則的に延長コードは使用しないでください。

● 火災や感電の原因になることがあります。また、使用時は束ねをほどき、電源コードと延長コードの接続が確実になるように根もとまで電源プラグを差し込んでください。

いつでも電源プラグが抜けるように、電源プラグのまわりには物を置かないでください。

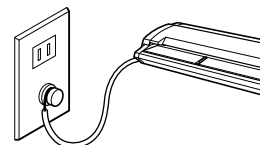
● 非常時に電源プラグが抜けなくなります。

アース線を接続してください。

● アース線を接続しないで万一漏電した場合は、火災や感電の原因になることがあります。

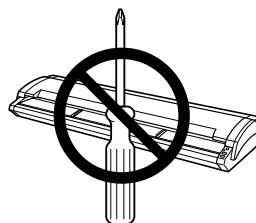
● 必ず接地接続を行ってください。

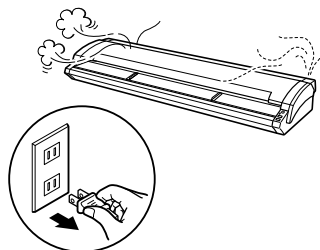
● 接地接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。

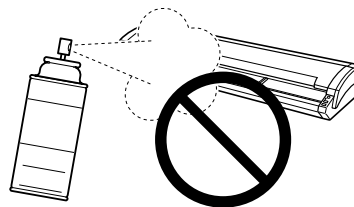
又、接地接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。

■取り扱いについて

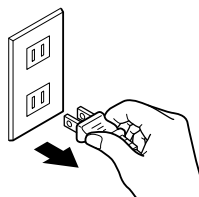
⚠警告

機械を分解したり、改造したりしないでください。

● 機械内部には高温の部分があり、火災や感電の原因になります。

異常な音がしたり、煙が出たり、熱が出たり、変なにおいがした場合は、直ちに電源スイッチを切り、必ず電源プラグを抜いてお買い求めの販売店または担当サービスにご連絡ください。

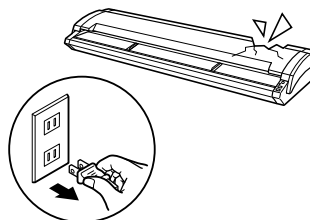
● そのまま使用すると火災や感電の原因になります。

機械の近くでは可燃性のスプレーなどは使用しないでください。

● スプレーのガスが機械内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。

機械を移動させる場合は、必ず電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてから行なってください。

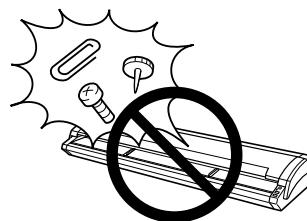
● 電源コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

本体が落下などにより破損したときは、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

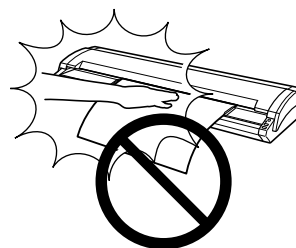
● そのままの状態で使用すると、火災・感電の原因となります。

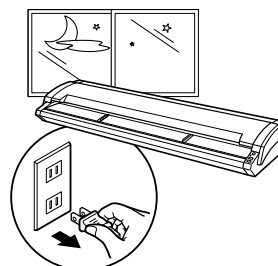
● 修理を依頼してください。

● お客様による修理は危険です。絶対におやめください。

⚠注意

機械内部にクリップやホッチキスの針などの金属片を落とさないでください。また、水・液体や引火溶剤（アルコール・ベンジン・シンナーなど）をこぼさないでください。

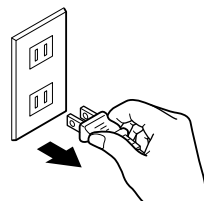
● これらが機械内部の電気部品に接触すると、火災や感電の原因になることがあります。これらが機械内部に入った場合は、直ちに電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてお買い求めの販売店または担当サービスにご連絡ください。

スキャン中や原稿をフィードしているときは、機械の中に手を入れないでください。

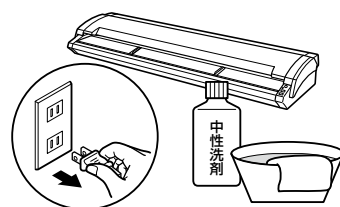
● 内部で機械が駆動しているため、けがの原因になることがあります。

夜間など長時間使用しない場合は、安全のため電源スイッチを切ってください。

● また連休などで長時間ご使用になられない場合は、安全のため電源プラグを抜いてください。

■保守・点検について

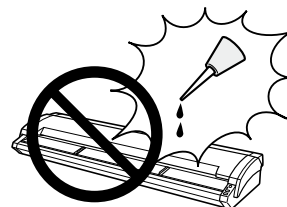
⚠警告

清掃のときは、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

● 火災や感電の原因になります。また、清掃中に機械が動くとけがの原因になります。

清掃のときは、中性洗剤を含ませてかたくしぼった布を使用してください。アルコール・ベンジン・シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。

● 引火性溶剤が機械内部の電機部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。

本機の機構部への注油はしないでください。

● 本機の性能をそこない、誤操作・故障の原因となります。

● ショートや発熱により、火災・感電の原因となります。

⚠注意

電源プラグは年１回以上コンセントから抜いて、電源プラグの刃と刃の周辺部分を清掃してください。

● ホコリがたまると、火災の原因になることがあります。

清掃など内部を点検するときは、ネックレス・ブレスレットなど金属物が機械内部にふれないように点検してください。

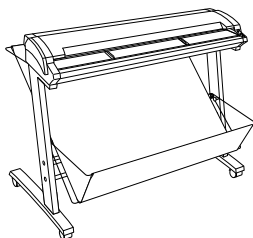
● けがや感電の原因になることがあります。

原稿をセットするときや紙詰まりを取り除くときは、原稿の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。

● けがの原因となります。

はじめに

このたびは、イメージスキャナー CSX500シリーズをご購入頂きまして誠にありがとうございます。

ご使用の前に、本取扱説明書をよくお読みいただき、安全に正しくお使いください。

VCCIについて

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

輸出に関するご注意とお願い

当社製品を輸出または国外へ持ち出す際、その製品が外国為替及び外国貿易法（外為法）の規定による規制貨物に該当する場合は、日本国政府（経済産業省）に対して、輸出許可証の申請が必要です。また、非該当品であっても通関上何らかの書類が必要となります。詳しくは最寄りの弊社営業所までお問い合わせください。

本書に関するご注意

（1）本書の内容の一部、または全部を複写･転写することを禁止します。

（2）本書の内容および製品の仕様は、将来予告なしに変更することがあります。

（3）本書および製品につきましては万全を期しておりますが、万一ご不明な点や誤り等にお気づきの点がございましたら、弊社までご連絡ください。

（4）本書および製品を運用した結果の影響につきましては、（3）の項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。

登録商標について

記載された会社名･ロゴ･製品名などは、該当する各社の商標または登録商標です。

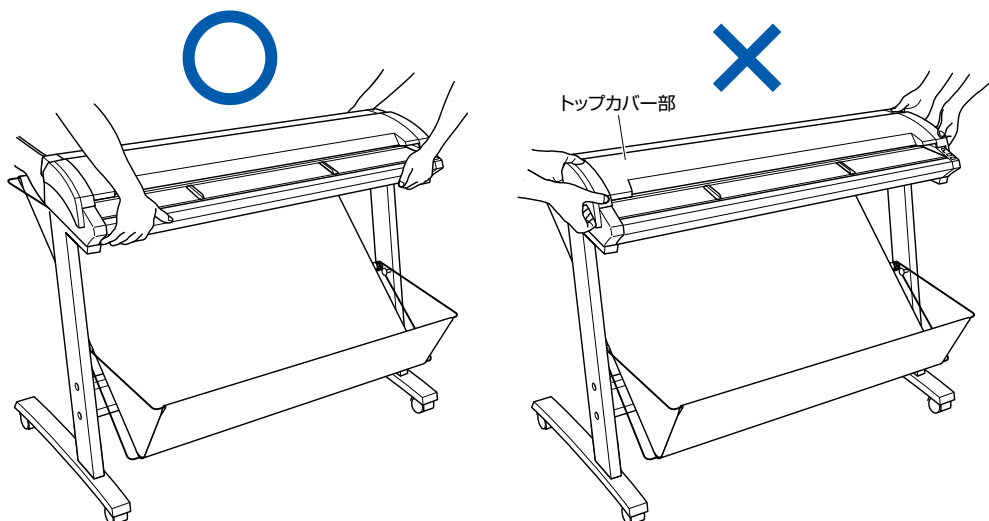
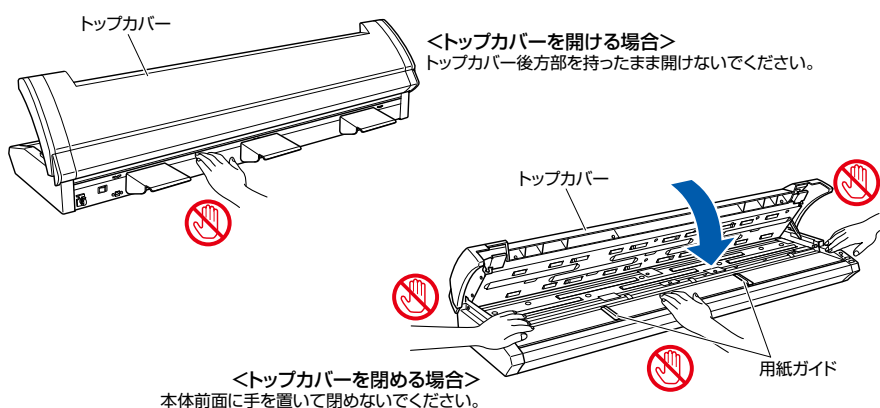
著作権について

本取扱説明書は、グラフテック株式会社が全ての著作権を保有しています。

国際エネルギースタープログラムについて

当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。対象となる製品はコンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリおよび複写機等のオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク（ロゴ）は参加各国の間で統一されています。

ご使用にあたっての注意

ご使用の際には、トップカバー部を持って本体を持ち上げたり、移動したりしないでください。本体が損傷する恐れがありますので、必ず底部分を持ってください。

トップカバーの開閉時には、トップカバーと本体部分の隙間に指を挟まないように注意してください。

トップカバーを閉める場合、用紙ガイドを挟まないように、注意してください。

ご使用前には、必ずトップカバーを開け緩衝材を取り除いてください。

（「4.1 トップカバーの開閉」を参照してください。）

ウォームアップについて

本機は、通常のご使用ではウォームアップは必要としませんが、カラー原稿（特に淡い色の多い原稿）をスキャンする場合は、10分間程度のウォームアップを行うことをお薦めします。

目次

３章　原稿のセット

４章　日常のお手入れ

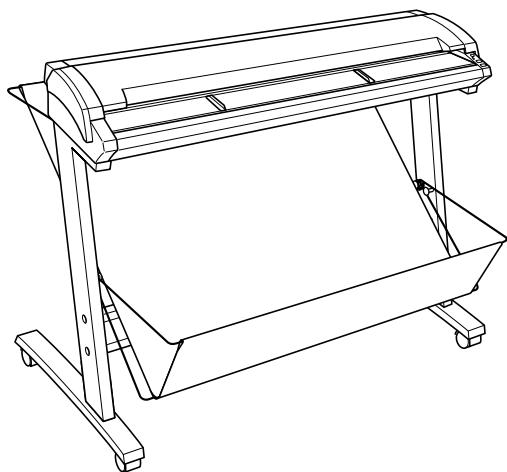
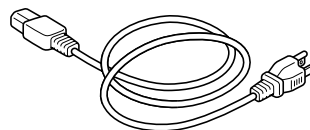
５章　動作異常時の確認と対処

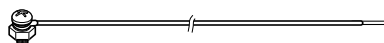
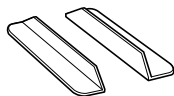
1章　ご使用の前に

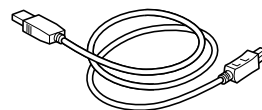
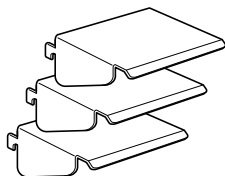
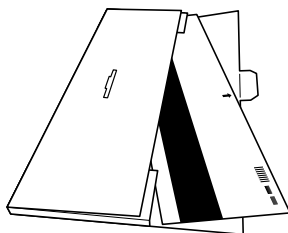
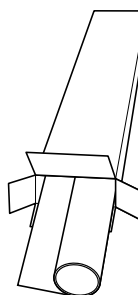
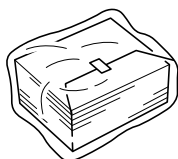
1.1　同梱品の確認

以下の同梱品がすべてそろっていることをご確認ください。

万一、付属品の不足や不良がありましたら、お手数ですがご購入先または弊社営業所までご連絡ください。

本体…1台（スキャナー本体、スタンド、バスケット）

電源ケーブル…1本

2極/3極変換アダプタ…1個

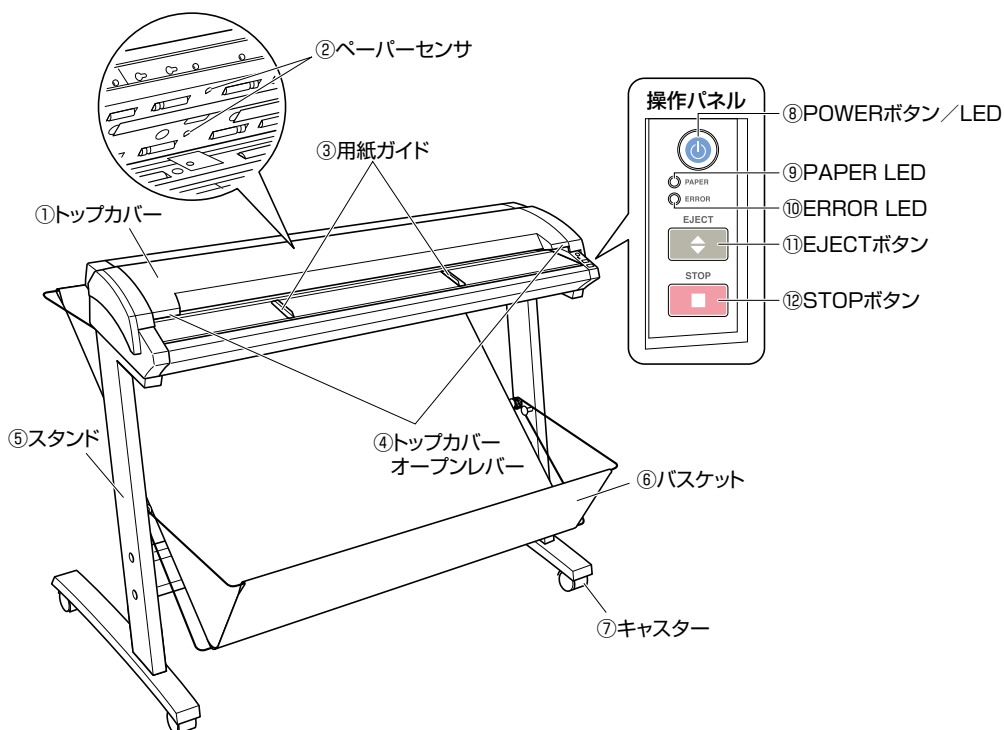
アース線…1式

用紙ガイド…2個

クランパ…1個

USBケーブル…1本

原稿支えプレート…3個

キャリブレーション用紙…1枚

キャリアシート（A0）…1枚
※CSX530/CSX550のみ

クリーニングペーパー…1式

取扱説明書…1冊

ドライバーソフトウェア…1式

保証書…1枚

1.2 各部の名称と機能

本体前面／操作パネル

本体前面

①トップカバー.................................トップカバーを開けると原稿押さえ、スキャンガラスを清掃することができます。

②ペーパーセンサ.............................原稿の有り無しを読み取るセンサです。

③用紙ガイド....................................原稿セット時の位置決めに使用します。
（マグネット固定方式）

④トップカバーオープンレバー.......このレバーを押してトップカバーを開きます。
動作中にトップカバーが開くと強制的に動作を中止します。

⑤スタンド...スタンド部分を組み立てて、スキャナー部分をセットし固定します。

⑥バスケット.....................................読み取った原稿を受けます。

⑦キャスター.....................................本体を移動させる場合に、ロックを解除すると移動することができます。

操作パネル

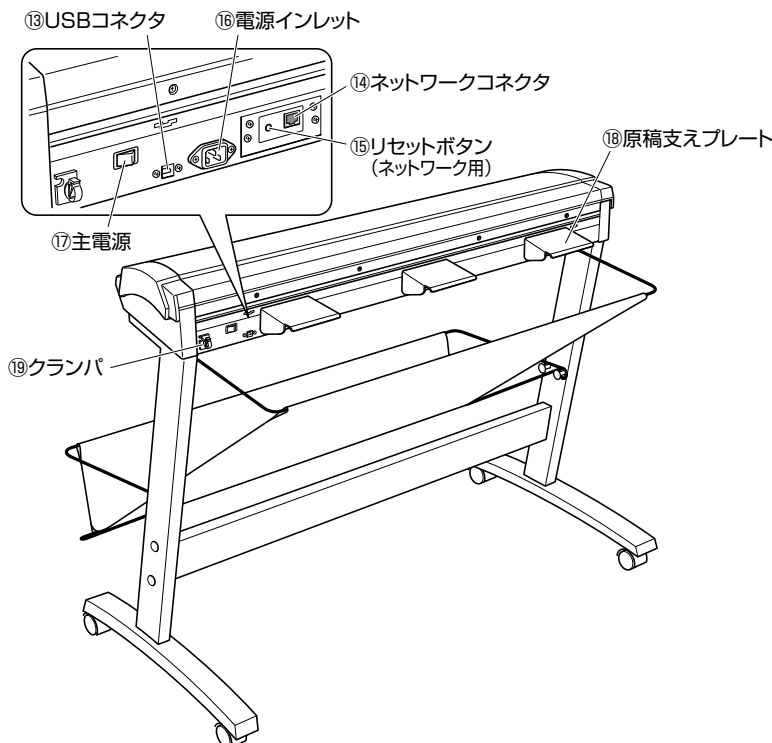
⑧POWERボタン／LED（青）.......電源のON/OFFを行います。
点灯：電源ON
点滅：省電力モード時
消灯：電源OFF

⑨PAPER LED（緑）.......................点灯：原稿セット時
点滅：スキャン読み取り（画像データ）時
消灯：通常状態（ローカル状態）

⑩ERROR LED（赤）.......................点灯：ハードウェアエラー時（5.3章 参照）
点滅：ハードウェアエラー時（5.4章 参照）
消灯：通常状態

⑪EJECT ボタン..............................原稿のフィードを行います。
原稿セット状態で押すと、原稿セット状態を解除し、原稿をスキャナー手前に排出します。
読み取り中止状態または読み取りを原稿の途中までで終了した場合に押すと、原稿セット状態を解除し、原稿をスキャナー後方に排出します。

⑫STOP ボタン................................原稿の読み取り／フィードを強制的に中止します。
トップカバーを閉めた状態でERROR LEDが点滅しているときに押すと、紙づまりの有無を確認します。

本体背面

⑬USB コネクタ ....USBケーブルを接続します。

⑭ネットワークコネクタ※ ....ネットワークケーブルを接続します。

⑮リセットボタン（ネットワーク用）※
.... ネットワーク環境を初期化します。Network Utility を使用して、再設定してください。（2.7章 参照）

⑯電源インレット.............................電源ケーブルを接続します。

⑰主電源 ....主電源のON/OFFを行います。

⑱原稿支えプレート.........................排出される原稿を支えます。

⑲クランパ.......................................電源ケーブル、USBケーブル、ネットワークケーブル※を束ねて固定します。

※CSX550-09のみ

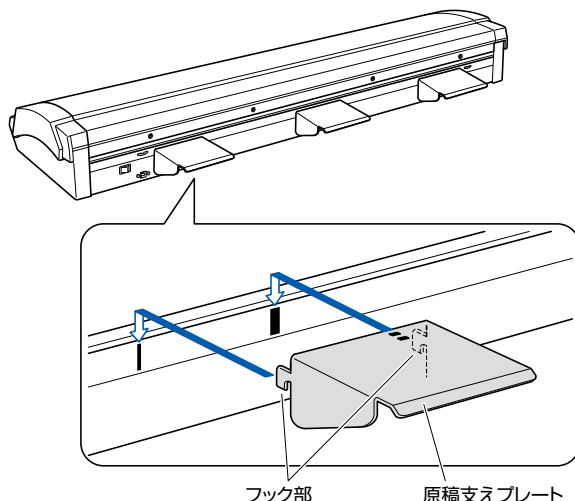
⚠注意 **USB接続とネットワーク接続を同時に使用することはできません。USBケーブルとネットワークケーブルを１台のコンピュータへ同時に接続しないでください。**

1.3 スキャナーの組み立て

スタンドの組み立ては、別紙のスタンド組立説明書を参照してください。

原稿支えプレートの取り付け方法

読み取り原稿の種類に関係なく必ず原稿支えを本体に取り付けてください。

1. 付属の原稿支えプレートのフック部を、本体後部の穴に上から差し込みます。

2. 同様に他の原稿支えプレートを取り付けます。

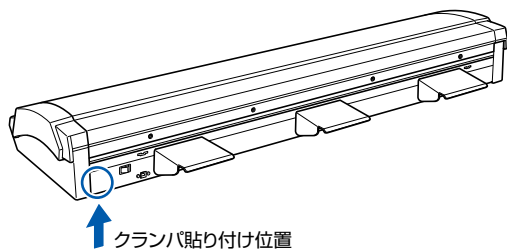
スキャナーを移動する時や梱包する時などは原稿支えプレートを外してください。原稿支えプレートは上に引き上げると外れます。

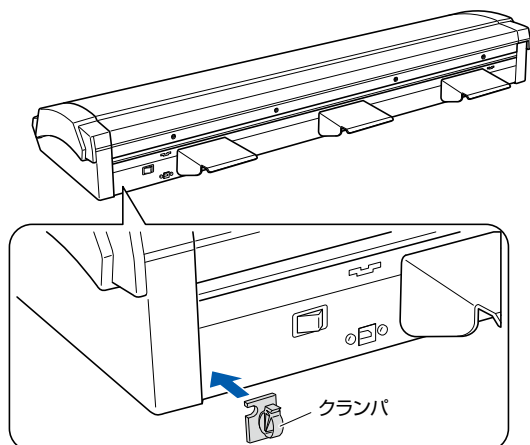
クランパの取り付けと使用方法

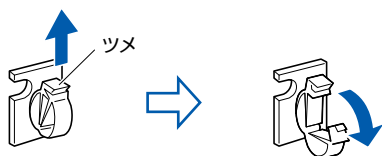
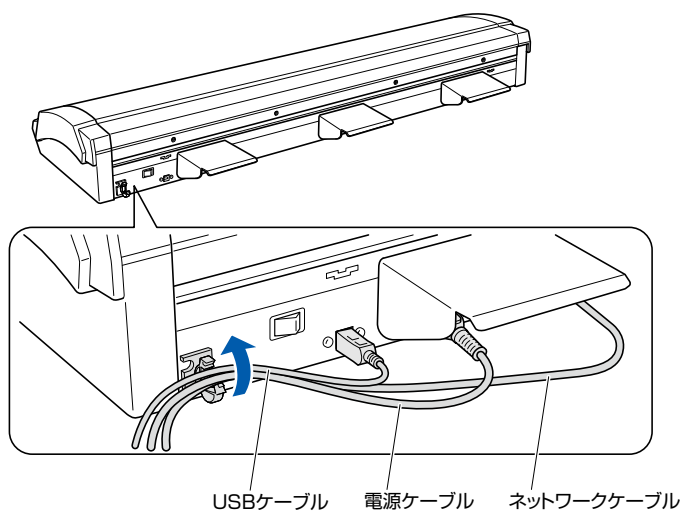
クランパを本体に取り付け、電源ケーブル、USBケーブル、ネットワークケーブル（CSX550-09のみ）を通し固定ます。

動作に影響がでる場合がありますので、必ずクランパを本体に取り付け、電源ケーブル、USBケーブル、ネットワークケーブル（CSX550-09のみ）を固定してください。

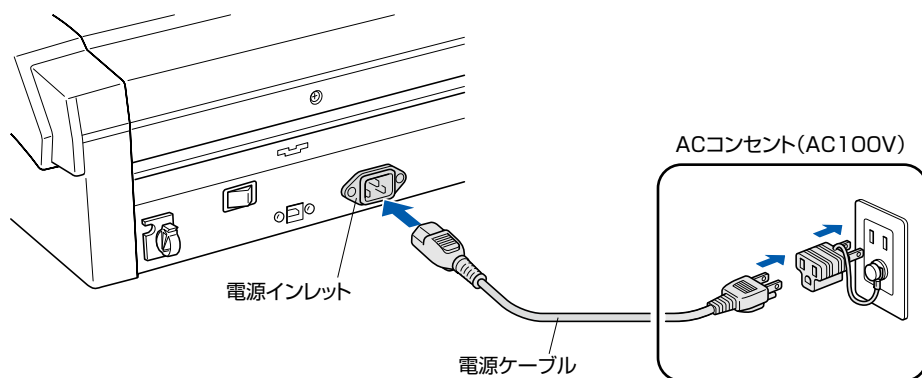
取り付け

1. クランパを取り付ける前に、貼り付け位置の汚れを拭きとります。軟らかい布に、水または中性洗剤（水で薄めたもの）を含ませ固くしぼり、汚れを拭き取ってください。

2. 乾いた軟らかい布でもう一度拭き、水気を完全に拭き取ってください。

3. クランパ裏面のシールを剥がし、クランパを本体に貼り付けてください。

使用方法

1. クランパをのツメを上部に引き上げ、クランパを開放します。

2. クランパに電源ケーブル、USBケーブル、ネットワークケーブル（CSX550-09のみ）を通し、クランパを固定します。

2章　接続と準備

2.1　電源の接続

付属の電源ケーブルで、本体の電源インレットと規定電圧（AC100V）のACコンセントを接続します。コンセントの形状に合わせ、付属の２極／３極変換アダプタを使用してください。

⚠注意

- 本機を使用する場合は、必ずアースを取ってください。アースを取らないで使用すると、ノイズによる誤動作もしくは画像の乱れを起こす可能性があります。
  ２極/3極変換アダプタを使用され、２極/3極変換アダプタのアース線の長さが不足した場合は、付属のアース線を使用してください。詳しくは、別紙の「アース線接地手順」をご覧ください。
- スキャナーを移動する時や梱包する時などは原稿支えプレートを外してください。原稿支えプレートは上に引き上げると外れます。

2.2 電源のオンとオフ

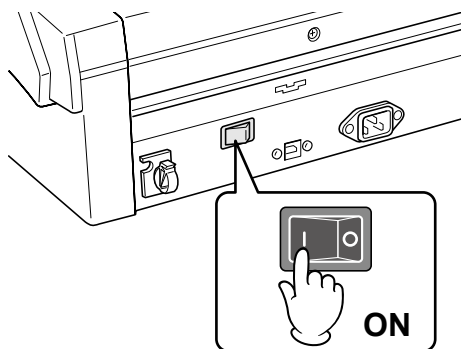
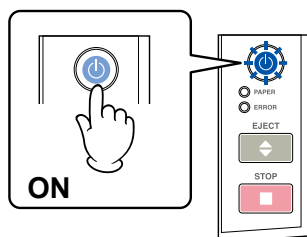
本機の電源状態により、[POWER]ボタンのLED(青)が下記のように変化します。

・消灯:電源OFF

・点灯:電源ON

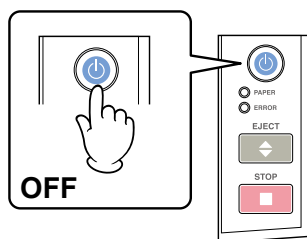
・点滅:省電力モード時

電源をオンにする

1. 電源ケーブルを接続します。
2. 本体背面の主電源をON(Ｉ側)にします。

3. 操作パネルの[POWER]ボタンを押します。
   電源がONの状態では、[POWER]ボタンのLED(青)が点灯します。

電源をオフにする

操作パネルの[POWER]ボタンを押します。

電源がOFFの状態では、[POWER]ボタンのLED(青)が消灯します。

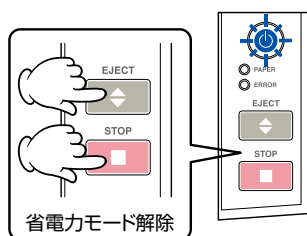
確認

●電源をOFFにして、再度ONにする場合は、5秒以上の時間をあけてください。

●長時間使用しない場合は、本体背面の主電源をOFF(○側)にしてください。

⚠注意

電源がONの状態で、本体背面の主電源をOFF(○側)にしないでください。

省電力モードについて

原稿がセットされていない状態が約13分続くと省電力モードになり、［POWER］ボタンのLED（青）が点滅します。通常状態（ローカル状態）にするには、［STOP］または［EJECT］ボタンを押してください。

原稿が挿入されている状態では、省電力モードにはなりません。

2.3 システム条件

スキャナーのハードウェアおよびソフトウェアが起動するためのシステム（最低条件）は、下記のものが必要です。

◆ OS　：Windows XP Professional/Home Edition
　　　Windows Vista Ultimate/Business/Home Premium/Home Basic
　　　Windows 7 Ultimate/Enterprise/Professional/Home Premium

◆ PC　：上記OSが正常に動作する環境であること
　　　（推奨環境　CPU：Dual Core以上、メモリ：3GB以上）

◆ HDD　：データを格納する容量があること

◆ モニタ：1024x768 True Colorが表示できること

◆ マウス

◆ ネットワークインタフェース：10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T対応のもの（スキャナーがネットワークインタフェースの場合）

◆ USB2.0インタフェース：本体に標準装備されているもの（スキャナーがUSB 2.0インタフェースの場合）

確認

グレースケール、および24ビットカラーデータを読み込み編集する場合は、推奨環境以上のメモリを必要とする場合があります。その場合は、Scanning Master Pro Color「OPS115」のメニューから、[ツール]－[オプション]の[全般]で「作業用ファイルを使用する」をオンにしてください。また、「フォルダを指定する」をオンにして、十分な空き容量があるフォルダーを指定してください。

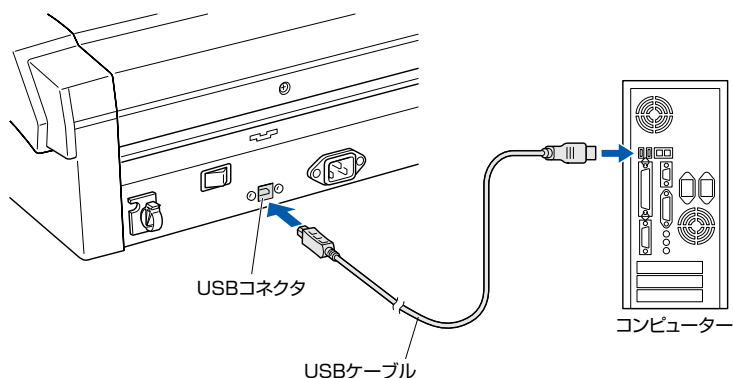
2.4 コンピューターとの接続

●USBケーブルは、USBコネクタに十分奥まで差し込んでください。
●以下の場合は、動作の保証を致しかねます。
・USBハブ及び拡張したUSBボードに接続した場合。
・自作機または改造を加えたパソコンを使用している場合。
・3mを越える長さのUSBケーブルを使用している場合。（付属のケーブルをご使用ください。）
●以下のことは、行わないでください。
・ドライバーインストール中の抜き差し。
・パソコン及びスキャナー起動中の抜き差し。
・データ転送中の抜き差し。
・一台のパソコンに複数のスキャナーの接続。

⚠注意 ●USBケーブル、ネットワークケーブル（CSX550-09のみ）は、必ず付属のクランパで固定してください。クランパの詳細は、「1.3 スキャナーの組み立て」の「クランパの取り付けと使用方法」をご覧ください。

USB接続

本体とコンピューターの接続は、USBコネクタを介してUSBケーブルで接続します。

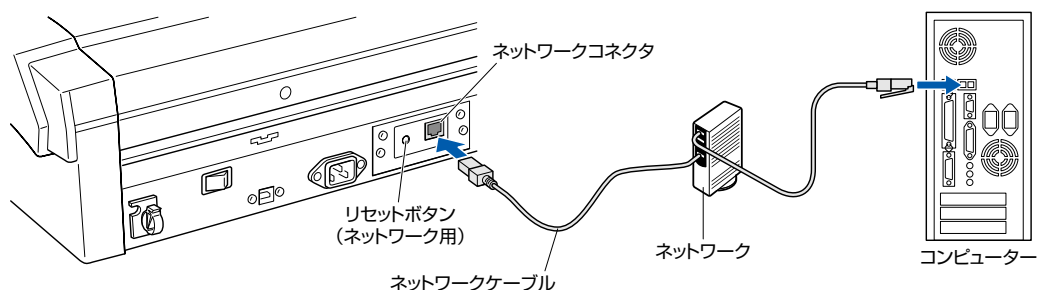
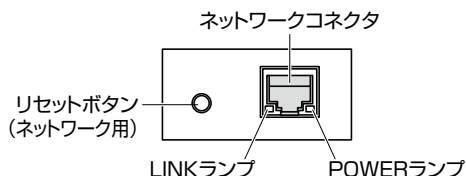
USBケーブルは、コンピューター側と本体側では形状が異なります。本体側、コンピューター側のコネクタ形状を確認して接続ください。

ネットワーク接続（CSX550-09のみ）

⚠注意

●USB接続とネットワーク接続を同時に使用することはできません。USBケーブルとネットワークケーブルを１台のコンピュータへ同時に接続しないでください。

確認

●ネットワークで接続するためには、ネットワーク（LAN）ケーブルやネットワークハブが必要です。別途ご購入ください。
●ネットワーク機器の構成、ルータ機能の有無はご使用の環境により異なります。詳細については、お使いの機器のマニュアルを参照するか、メーカーまたはネットワーク管理者にご相談ください。
●本機は10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T に準拠しています。ご使用のネットワーク環境をご確認ください。

本体とコンピューターの接続は、ネットワークコネクタを介してネットワークケーブルで接続します。

ネットワークコネクタについて

スキャナーの電源をオンにした後に、POWERランプ（右側）が黄色に点灯していることを確認してください。

LINKランプ（左側）は、10Base-T/100Base-TXの場合は橙色、1000BASE-T接続の場合は緑色に点灯します。

リセットボタン（ネットワーク用）について

ネットワーク環境が変更になった場合に使用します。

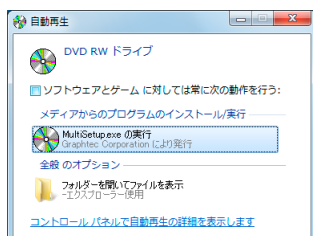
リセットボタンを押しながら、電源をONにすると、ネットワーク環境が初期化されます。

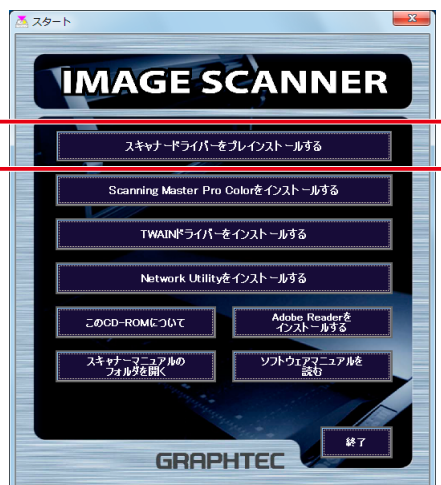
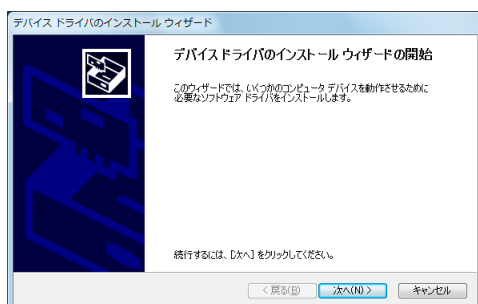
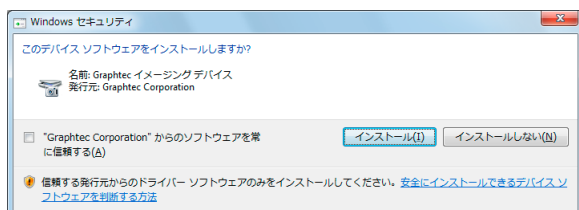
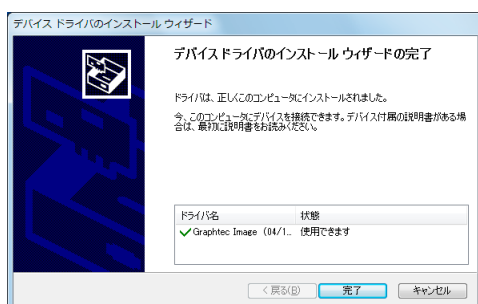
Network Utilityを使用して、再設定してください。（2.7章 参照）

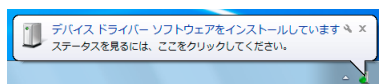
2.5 スキャナードライバーソフトのインストール方法

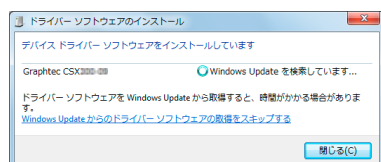
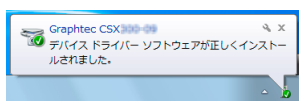
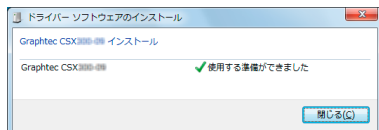
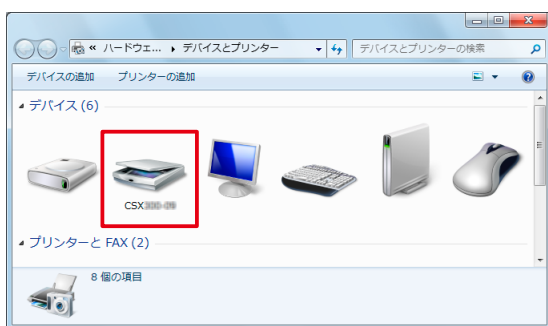
以下の作業は、必ずAdministratorの権限でWindowsにログオンして行ってください。詳しくは、Windowsのマニュアルおよびヘルプを参照してください。

Windows 7の場合

1. コンピューターの電源を投入します。(スキャナーはまだ接続しないでください。)
2. スキャナー付属の「**IMAGE SCANNER USER GUIDE CD-ROM**」をCD-ROMドライブにセットします。
   しばらくすると自動再生画面が表示されます。[**MultiSetup.exeの実行**]を選択します。

3. ユーザーアカウント制御画面が表示されますので、[**はい**]をクリックしてインストールを続行します。

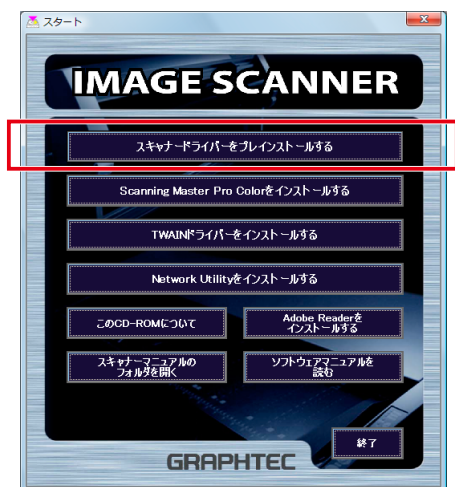
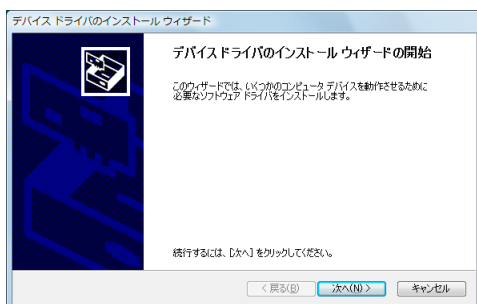
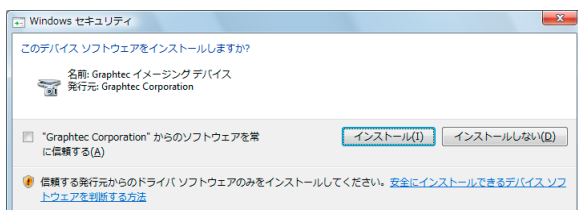
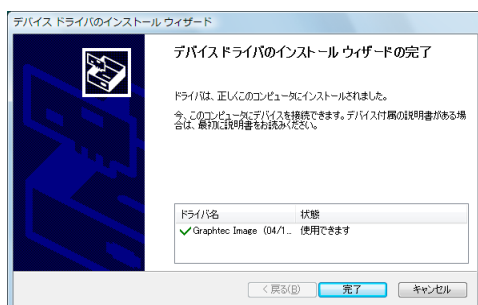
4. セットアップメニュー画面が自動的に起動します。続いて、「**スキャナードライバーをプレインストールする**」ボタンを押します。
   セットアップメニュー画面が起動しない場合は、エクスプローラーを起動して、CD-ROM内の「**MultiSetup.exe**」をダブルクリックすると起動します。

5. 下記の画面が表示されますので、**[次へ]**をクリックします。

6. 下記の画面が表示されますので、**[インストール]**をクリックします。

7. インストールが完了すると下記の画面が表示されますので、**[完了]**をクリックして「**デバイスドライバのインストールウィザード**」を終了します。

8. スキャナーの電源を投入し、スキャナー本体とコンピューターを接続します。

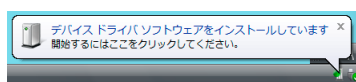
9. スキャナーに接続するとタスクバーに下記のメッセージが表示されるので、ドライバーのインストールが完了するのを待ちます。(数分かかる場合があります。)

確認

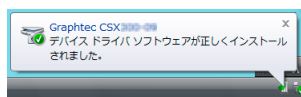
●コンピューターがネットワークに接続されていない場合は、すぐにインストールが完了し、次項の[手順10]のメッセージに切り替わります。
●コンピューターがネットワークに接続されている場合は、インストール中にこのメッセージが消える場合があります。この場合は、次項の[手順10]のメッセージになるまで待ちます。
●メッセージが表示されている間にメッセージをクリックすると下記の画面が表示されます。この場合、「Windows Updateからのドライバーソフトウェアの取得をスキップする」のリンクを選択することにより、インストールを早く終了することができます。

10. ドライバーのインストールが完了すると、タスクバーに下記のメッセージが表示されます。

［手順９］においてタスクバーのメッセージをクリックしていた場合は、インストールが完了すると下記の画面が表示されます。

11. デスクトップ上の **［スタート］** メニューより **「デバイスとプリンター」** を選択して下記の画面を表示し、接続したスキャナーが表示されていることを確認します。

以上で、ドライバーソフトウェアのインストールは終了です。

Windows Vistaの場合

1. コンピューターの電源を投入します。(スキャナーはまだ接続しないでください。)
2. スキャナー付属の「**IMAGE SCANNER USER GUIDE CD-ROM**」をCD-ROM ドライブにセットします。
   しばらくすると自動再生画面が表示されます。**[MultiSetup.exeの実行]**を選択します。

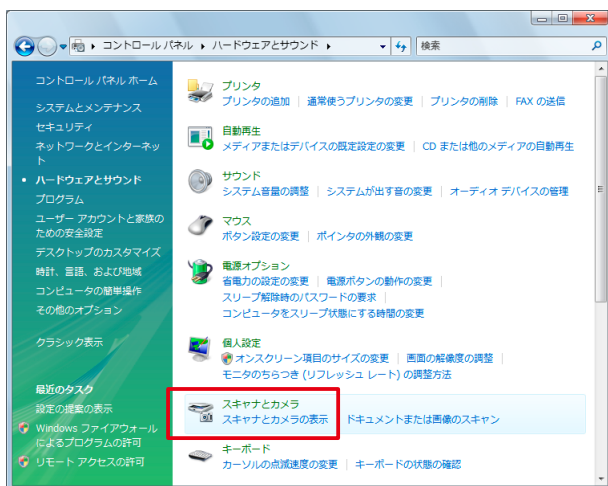
3. ユーザーカウント制御画面が表示されますので、**[続行]**をクリックしてインストールを続行します。
4. セットアップメニュー画面が自動的に起動します。続いて、**「スキャナードライバーをプレインストールする」**ボタンを押します。セットアップメニュー画面が起動しない場合は、エクスプローラを起動して、CD-ROM内の「**MultiSetup.exe**」をダブルクリックすると起動します。

5. 下記の画面が表示されますので、**[次へ]**をクリックします。

6. 下記の画面が表示されますので、**[インストール]**をクリックします。

7. インストールが完了すると下記の画面が表示されますので、**[完了]**をクリックして**「デバイスドライバのインストールウィザード」**を終了します。

8. スキャナーの電源を投入し、スキャナー本体とコンピューターを接続します。

9. スキャナーに接続するとタスクバーに下記のメッセージが表示されるので、ドライバーのインストールが完了するのを待ちます。

メッセージが表示されている間に、メッセージをクリックすると下記の画面が表示されます。

10. ドライバーのインストールが完了すると、タスクバーに下記のメッセージが表示されます。

確認

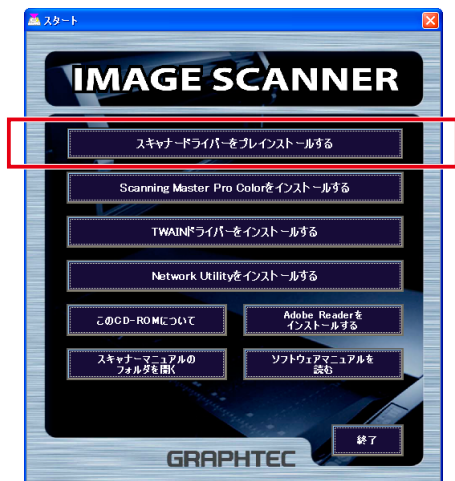
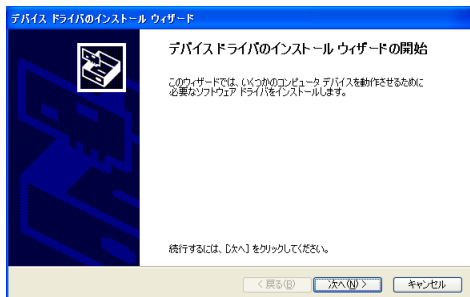
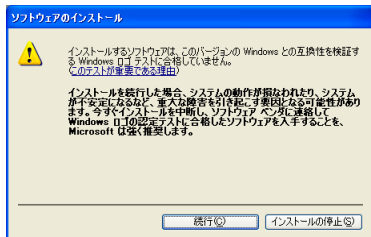
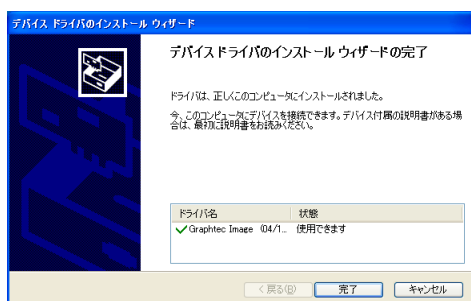
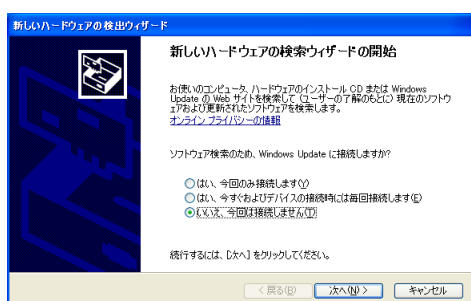
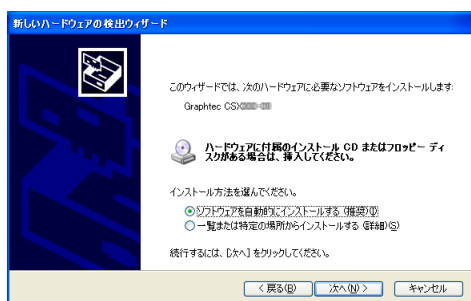
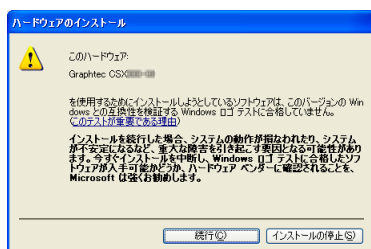
[手順9]においてタスクバーのメッセージをクリックしていた場合は、インストールが完了すると下記の画面が表示されます。

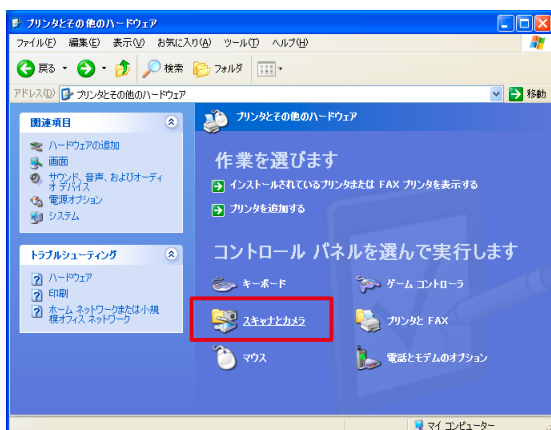
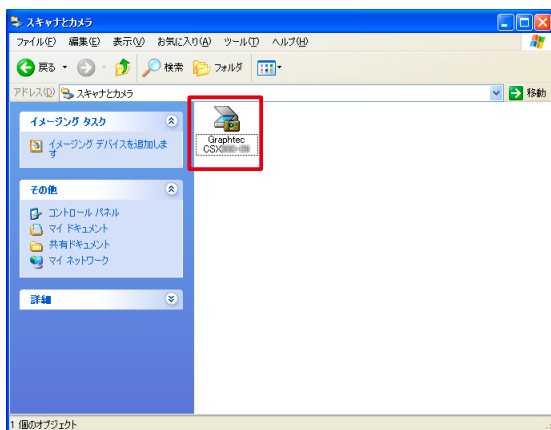
11. デスクトップ上の**[スタート]**メニューから**「コントロールパネル」**を表示します。

12.「**ハードウェアとサウンド**」をクリックすると、下記の画面が表示されます。

13.「**スキャナとカメラ**」をクリックして下記の画面を表示し、接続したスキャナーが表示されていることを確認します。

以上で、ドライバーソフトウェアのインストールは終了です。

Windows XPの場合

1. コンピューターの電源を投入します。（スキャナーはまだ接続しないでください。）
2. スキャナー付属の**「IMAGE SCANNER USER GUIDE CD-ROM」**をCD-ROMドライブにセットします。
3. しばらくするとセットアップメニュー画面が自動的に起動します。続いて、**「スキャナードライバーをプレインストールする」**ボタンを押します。セットアップメニュー画面が起動しない場合は、エクスプローラを起動して、CD-ROM内の**「MultiSetup.exe」**をダブルクリックすると起動します。

4. 下記の画面が表示されますので、**[次へ]**をクリックします。

5. 下記の画面になりますので、文章内容を確認します。インストールを続行する場合は、**[続行]**をクリックします。

6. インストールが完了すると下記の画面が表示されますので、**[完了]**をクリックして**「デバイスドライバのインストールウィザード」**を終了します。

7. スキャナーの電源を投入し、スキャナー本体とコンピューターを接続します。
8. 下記の画面が表示された場合は、**「いいえ、今回は接続しません」**を選択して**[次へ]**をクリックします。(Service Pack2 以降の PC において画面が表示される場合があります。)

9. 下記の画面が表示されますので、**「ソフトウェアを自動的にインストールする(推奨)」**を選択して**[次へ]**をクリックします。

10. 下記の画面になりますので、文章内容を確認します。インストールを続行する場合は、**[続行]**をクリックします。

11. ドライバーのインストールが完了すると下記の画面が表示されますので、**[完了]**をクリックして**「新しいハードウェアの検出ウィザード」**を終了します。

12. デスクトップ上の**[スタート]**メニューから**「コントロールパネル」**を表示します。
13. **「プリンタとその他のハードウェア」**をクリックすると、下記の画面が表示されます。

14. **「スキャナとカメラ」**をクリックして下記の画面を表示し、接続したスキャナーが表示されていることを確認します。

以上で、ドライバーソフトウェアのインストールは終了です。

2.6 Scanning Master Pro Colorのインストール方法

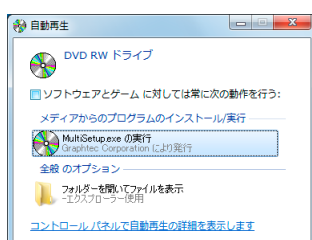
Scanning Master Pro Color「OPS115」は弊社製スキャナーを利用して、イメージデータを読み込むためのソフトウェアです。

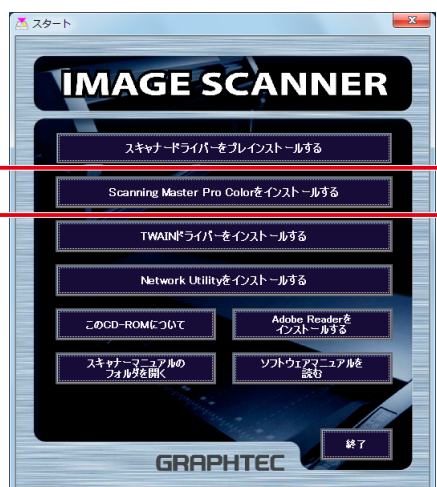
動作環境

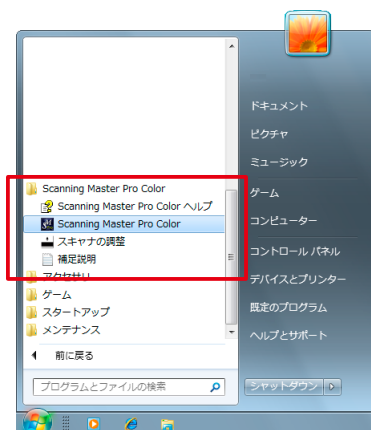
Windows XP Professional/Home Edition
Windows Vista Ultimate/Business/Home Premium/Home Basic
Windows 7 Ultimate/Enterprise/Professional/Home Premium

セットアップ方法

Windows 7用の表示画面で説明を行います。

1. Windows 7を起動します。
2. 付属品の**「IMAGE SCANNER USER GUIDE CD-ROM」**をCD-ROMドライブにセットします。
   しばらくすると自動再生画面が表示されます。**[MultiSetup.exeの実行]**を選択します。

3. ユーザーカウント制御画面が表示されますので、**[はい]**をクリックしてインストールを続行します。

4. セットアップメニュー画面が自動的に起動します。続いて、**「Scanning Master Pro Colorをインストールする」**ボタンを押します。
   セットアップメニュー画面が起動しない場合は、エクスプローラーを起動して、CD-ROM内の**「MultiSetup.exe」**をダブルクリックすると起動します。

5. しばらくすると、Scanning Master Pro Color「OPS115」のセットアッププログラムが起動します。ここからは、セットアッププログラムの指示にしたがってセットアップを行います。

正常にセットアッププログラムが終了すると、デスクトップ上の**［スタート］**メニューに**「Scanning Master Pro Color」**が追加されます。

2.7 ネットワークでの接続（CSX550-09のみ）

●USB接続とネットワーク接続を同時に使用することはできません。USBケーブルとネットワークケーブルを１台のコンピュータへ同時に接続しないでください。

確認

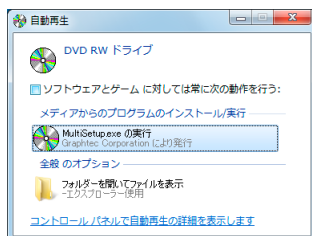
●以下の作業は、必ずAdministratorの権限でWindowsにログオンして行ってください。詳しくは、Windowsのマニュアルおよびヘルプを参照してください。

●Graphtec Network Utilityを実行する前に、必ずスキャナードライバーソフトウェアのインストールを行ってください。（「2.5 スキャナードライバーソフトのインストール方法」を参照してください。）

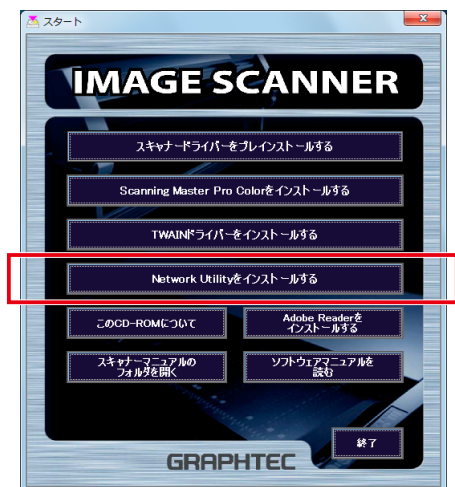
セットアップ方法

ネットワークインタフェースで接続した場合で説明しています。

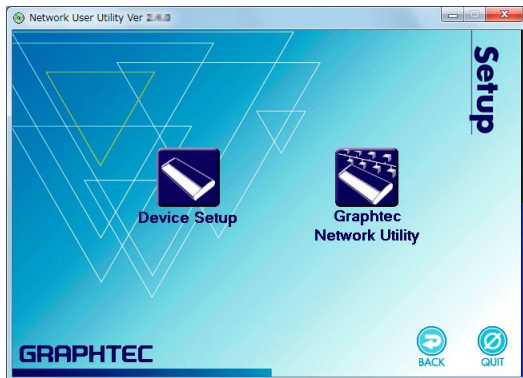
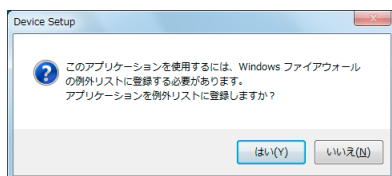
Windows 7用の表示画面で説明を行います。

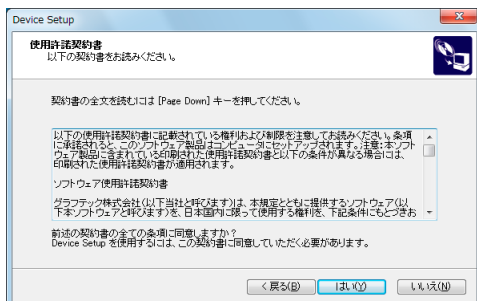
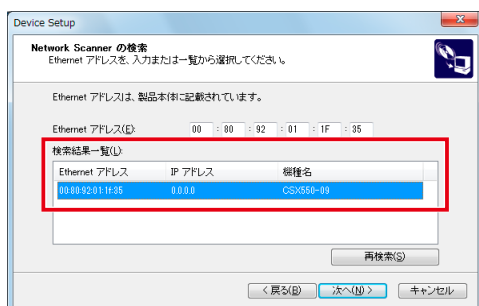
1. スキャナー本体とコンピューターの電源を投入し、ネットワークインタフェースで接続します。
2. 付属品の「**IMAGE SCANNER USER GUIDE CD-ROM**」をCD-ROMドライブにセットします。
   しばらくすると自動再生画面が表示されます。**［MultiSetup.exeの実行］**を選択します。

3. ユーザーカウント制御画面が表示されますので、**［はい］**をクリックしてインストールを続行します。

4. セットアップメニュー画面が自動的に起動します。続いて、**「Network Utilityをインストールする」**ボタンを押します。

セットアップメニュー画面が起動しない場合は、エクスプローラーを起動して、CD-ROM内の**「MultiSetup.exe」**をダブルクリックすると起動します。

5. 下記の画面が表示されますので、**[セットアップ]**をクリックします。

Device Setupの設定

6. 下記の画面が表示されますので、**[Device Setup]**をクリックします。

※ Windows 7、Windows VistaおよびWindows XP Service Pack2では、下記の**「ファイアウォール例外リスト登録確認」**画面が表示されますので、**[はい]**をクリックします。

7. 下記の画面が表示されますので、**[次へ]**をクリックします。

8. 下記の画面が表示されますので、**「使用許諾契約書」**の内容を確認して、**[はい]**をクリックします。

9. 下記の画面が表示されますので、**「検索結果一覧」**に表示されたスキャナーを選択して、**[次へ]**をクリックします。

※ Ethernetアドレスは、製品本体には記載されておりません。

※ スキャナーが表示されない場合は、コンピューターとスキャナー本体の接続を確認して、[再検索]をクリックしてください。

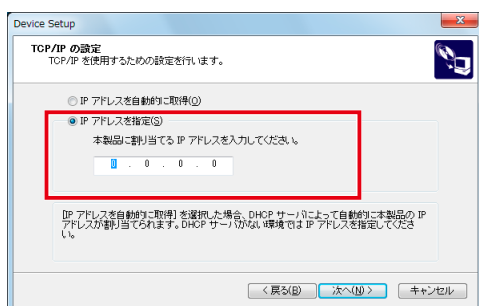
⚠注意

- IPアドレスが初期設定（0.0.0.0）以外に設定されている場合、設定に使用するコンピューターのIPアドレスとスキャナーに設定されているIPアドレスが同じサブネットにある必要があります。
- スキャナーと同じIPアドレスがある場合、設定は行えません。
- ルーターを超えた場所から設定を行おうとした場合、ルーターの機種によって検索ができない場合があるため、同一セグメント内で設定を行ってください。

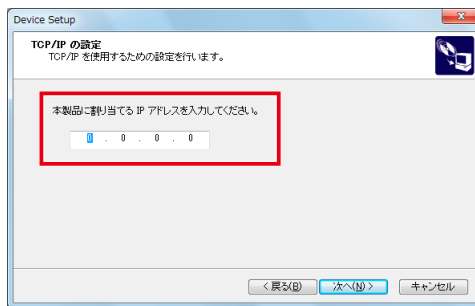
10. IPアドレスの設定を行います。

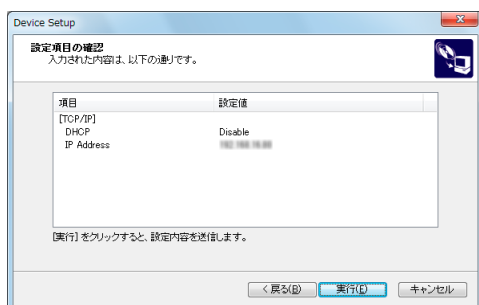
※ 環境によって表示される画面が異なります。

・以下の画面が表示された場合

「IPアドレスを指定」を選択し、任意のIPアドレスを入力後、**[次へ]**をクリックします。

※ IPアドレスが不明の場合はネットワーク管理者に確認をお願いします。同じIPアドレスがネットワーク上に2つ以上存在する場合、ネットワークの障害が発生する恐れがあります。

・以下の画面が表示された場合

任意のIPアドレスを入力後、**[次へ]**をクリックします。

※ IPアドレスが不明の場合はネットワーク管理者に確認をお願いします。同じIPアドレスがネットワーク上に2つ以上存在する場合、ネットワークの障害が発生する恐れがあります。

11. 下記の画面が表示されますので、設定項目を確認して、**[実行]**をクリックします。

12.下記の画面が表示されますので、**「はい」**を選択して、**[完了]**をクリックします。

Device Setupが完了しました。

Graphtec Network Utilityのインストール

13.下記の画面が表示されますので、**[次へ]**をクリックしてください。

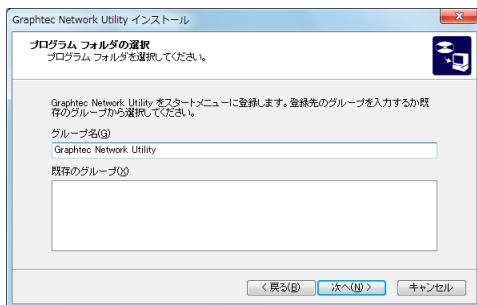
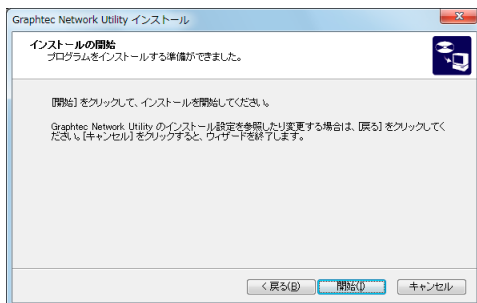
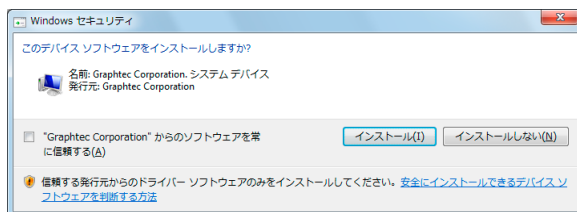
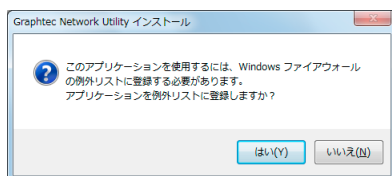
14.下記の画面が表示されますので、**「使用許諾契約書」**の内容を確認して、**[はい]**をクリックします。

15.下記の画面が表示されます。

インストール先のフォルダーを選択します。任意で選択する場合は**[参照]**をクリックし、フォルダーを選択してください。

※デフォルト設定（C: ¥Program Files ¥Graphtec ¥Graphtec Network Utility）

[次へ]をクリックします。

16.下記の画面が表示されますので、プログラムフォルダー名を設定して、**[次へ]**をクリックします。

17.**[開始]**をクリックし、インストールを開始します。

※ Windows 7およびWindows Vistaでは、下記の**「Windows セキュリティ」**画面が表示されますので、**[インストール]**をクリックします。

※ Windows 7、Windows VistaおよびWindows XP Service Pack2では、下記の**「ファイアウォール例外リスト登録確認」**画面が表示されますので、**[はい]**をクリックします。

18.インストールが終了したら、**[完了]**を押してください。

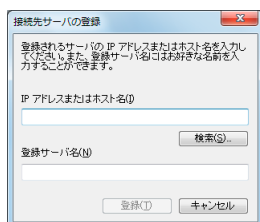
Graphtec Network Utilityのセットアップが完了しました。

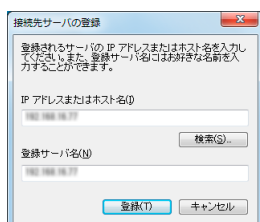
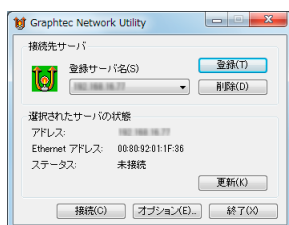
Graphtec Network Utilityのセットアップ

Graphtec Network Utilityを実行する前に、必ずスキャナードライバーソフトウェアのインストールを行ってください。(「2.5 スキャナードライバーソフトのインストール方法」を参照してください。)

1. Graphtec Network Utilityのセットアップを行います。
   [スタート]メニューに追加された**「Graphtec Network Utility」**を起動してください。
2. 接続先サーバーの登録を行います。
   Graphtec Network Utilityを起動すると、サーバーの登録を求める画面が表示されます。
   [はい]をクリックし、サーバーの登録を行ってください。
   ※ **[いいえ]**を選択した場合でも、**[登録]**を押すことにより登録画面に進むことができます。

Graphtec Network Utilityでは、スキャナーをサーバーと表現しています。

3. 下記の画面が表示されますので、**[検索]**をクリックしてください。

4. 接続するサーバーを選択し、**[OK]**をクリックします。

5. **[登録]**をクリックし、Graphtec Network Utilityより接続を行います。

6. **[接続]**をクリックします。

※ スキャナードライバーソフトウェアのインストール画面が表示される場合があります。この場合、「2.5 スキャナードライバーソフトのインストール方法」を参照してください。

Windows 7 ....「Windows 7の場合」の手順9

Windows Vista ....「Windows Vistaの場合」の手順9

Windows XP ....「Windows XPの場合」の手順8

確認

- ネットワークインタフェースで接続して使用する場合は、必ずGraphtec Network Utilityを起動し、[接続]ボタンをクリックしてください。また、使用が終了したら[切断]ボタンをクリックし、スキャナーが他のコンピューターから使用できる状態にしてください。
- [接続]ボタンがグレー表示の場合は、スキャナーが他のコンピューターで使用中です。[接続]ボタンが黒表示に戻ってから接続してください。
- **スキャナーは接続状態のまま、コンピューターからの指令がない場合、約10分で切断を行います。**

注意

- スキャンウィンドが開いている時に切断を行うと、スキャナーが使用中のままとなり、コンピューターからも使用できなくなります、その場合は一度スキャナーの電源を切る必要があります。
- 省電力モードでは、スキャナーのネットワークインタフェースが休止します。接続する場合は、スキャナーを省電力モードから復帰させてください。

初期設定の方法

スキャナーのネットワーク環境を初期化するには、以下の方法があります。

・スキャナー本体で初期化する

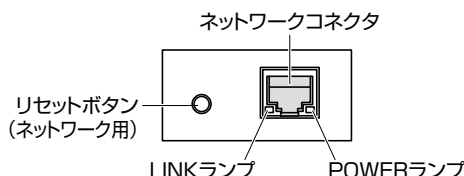
・Network Utilityで初期化する

初期化されると、IPアドレスが（0. 0. 0. 0）になります。

初期化後には、付属品の「IMAGE SCANNER USER GUIDE CD-ROM」をCD-ROMドライブにセットし、「Network Utilityをインストールする」から「セットアップ」で「Device Setup」を実行してください。

（前述の「セットアップ方法」を参照してください。）

スキャナー本体での初期化

スキャナーを接続するネットワークの環境を変更する場合は、初期化を行ってください。

ネットワークケーブルを外し、スキャナーの電源をOFFにします。

リセットボタンを押しながら、電源をONにします。（右側のPOWERランプが点灯）

リセットボタンは、左側のLINKランプが点灯するまで、押し続けます。

LINKランプが点灯すると、リセットボタンを離します。

スキャナーの主電源をOFF（○ 側）にし、5秒以上の間隔をあけて電源ON（I 側）にします。

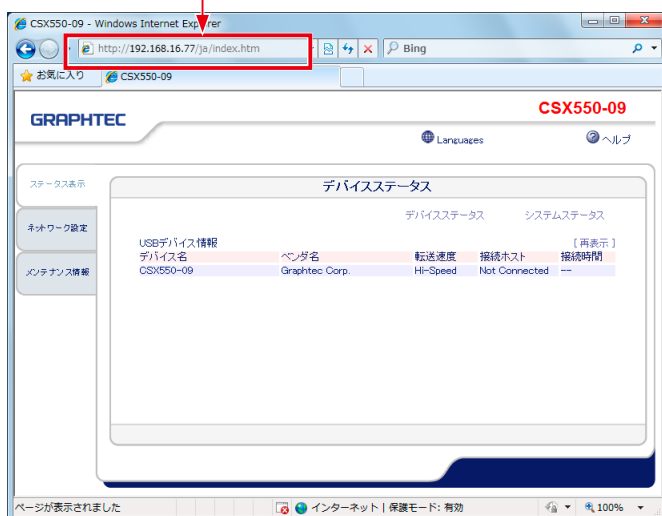
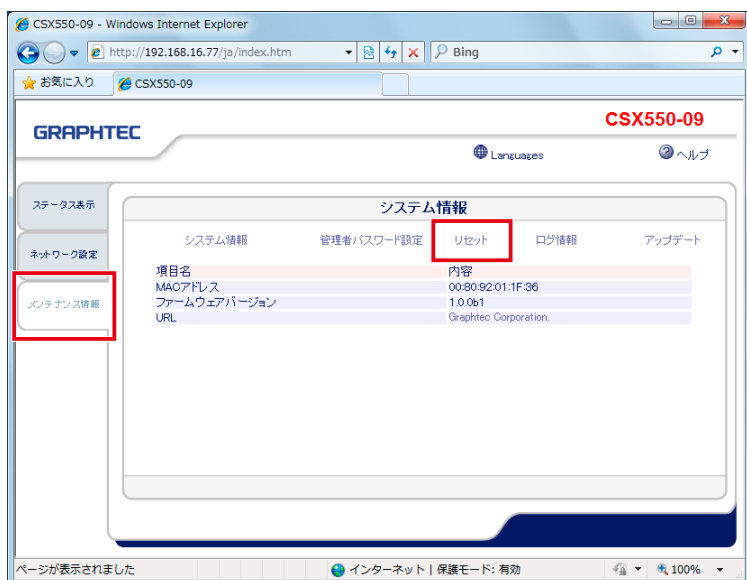
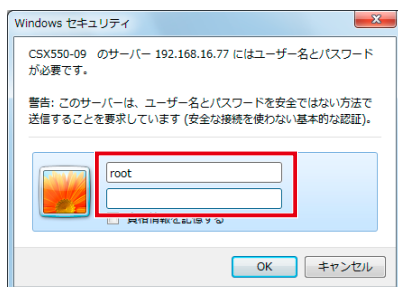
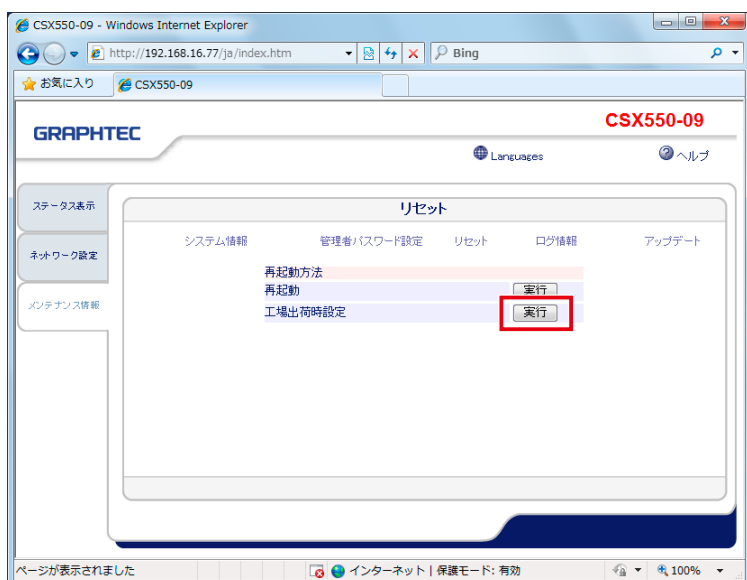
以上で、ネットワーク環境が初期化されます。

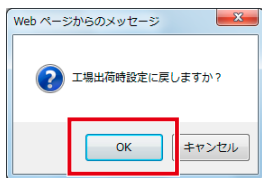
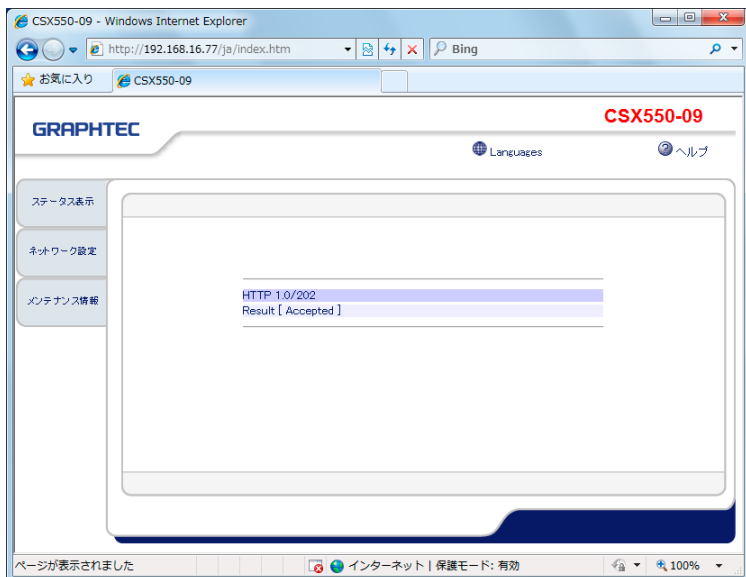
Network Utilityでの初期化

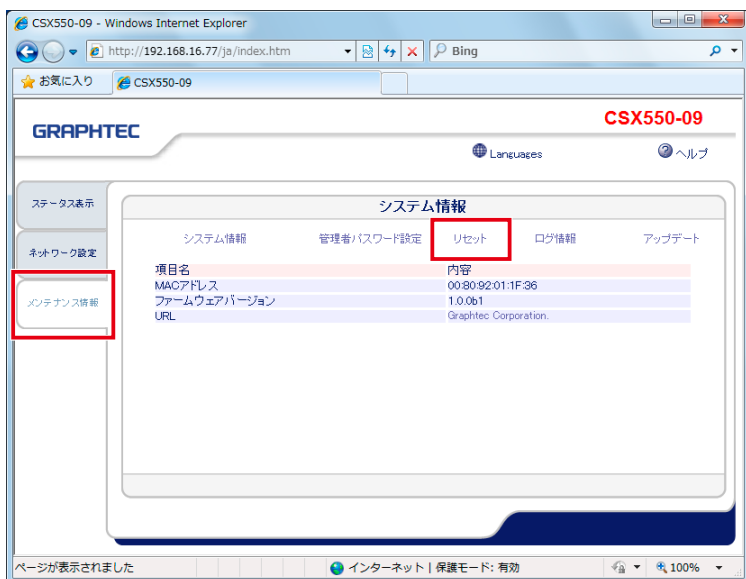
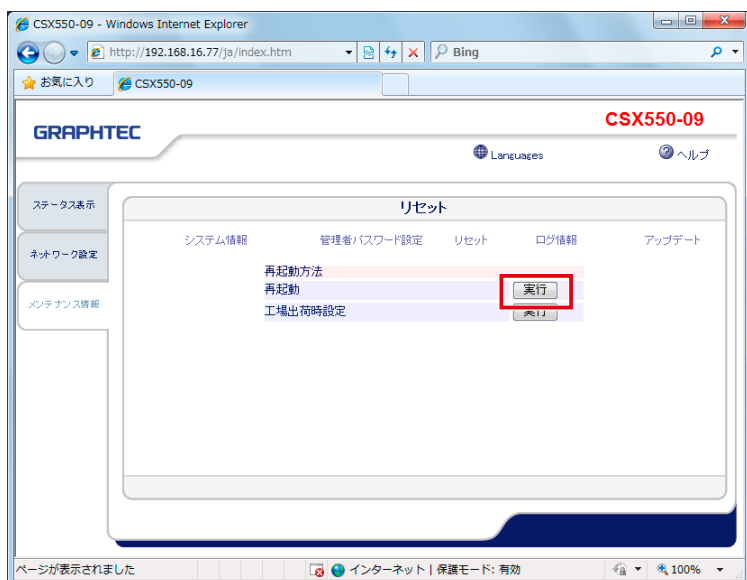
スキャナーを接続するネットワークの環境を変更する場合は、初期化を行ってください。

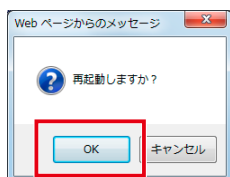
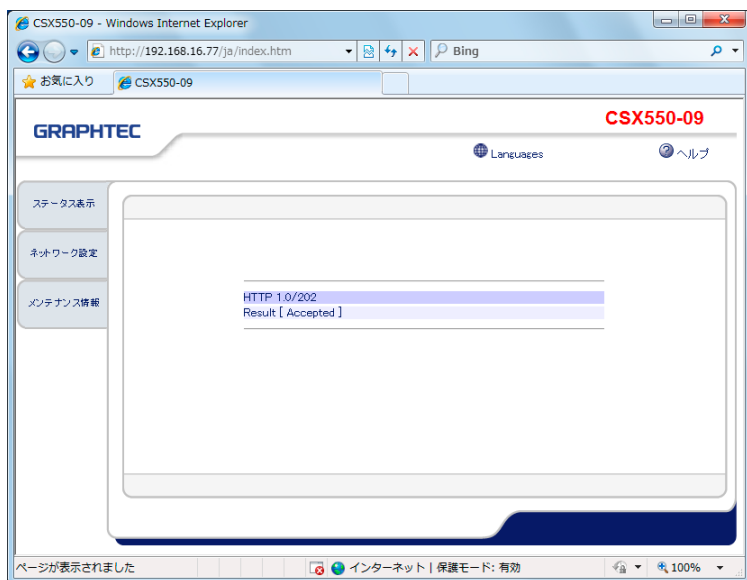
初期設定を行う場合は、ブラウザーのPROXYサーバー設定をオフにしてください。

1. Internet Explorer（インターネット エクスプローラー）を起動します。
2. Internet Explorerのアドレスの空欄に、**「http://スキャナーに登録したIPアドレス/ja/index.htm」**を入力してください。

例　http://192.168.16.77/ja/index.htm

3. **[メンテナンス情報]**タブを選択し、**[リセット]**をクリックしてください。

4. ユーザー名の空欄に「**root**」を入力し、**[OK]**をクリックしてください。
（ユーザー名：root　パスワード：空欄）

5. 「**工場出荷時設定**」の**[実行]**ボタンをクリックしてさい。

6. **「工場出荷時設定に戻しまか？」**と表示されます。

［OK］をクリックしてください。

7. 設定後、以下の画面が表示されます。

8. ネットワークボードの再起動を行います。

［メンテナンス情報］タブを選択し、**［リセット］**をクリックしてください。

9.**「再起動」**の**[実行]**ボタンをクリックしてください。

10.**「再起動しますか?」**と表示されます。

[OK]をクリックします。

11.設定後、以下の画面が表示されます。

12.スキャナのネットワーク環境の初期化が完了します。

3章 原稿のセット

3.1 読み取り原稿に関して

スキャナーは原稿を移動しながら読み取るため、読み取れる原稿には下記の制約があります。

読み取りできる用紙の幅

用紙幅965mmまでの原稿

サイズ	JIS（ISO）	サイズ	JIS（ISO）
A4	210mm×297mm	B4	257mm×364mm
A3	297mm×420mm	B3	364mm×515mm
A2	420mm×594mm	B2	515mm×728mm
A1	594mm×841mm	B1	728mm×1030mm
A0	841mm×1189mm		

読み取りできる用紙の長さ

長さ999.99999mまで設定が可能です。

長尺原稿の場合、接続するコンピューターの環境により、読み取れない場合があります。

読み取りできる原稿の厚み

原稿の厚みが1.6mmを超えるものは、読み取りができません。キャリアシートを使用する場合は、全体の厚みが1.6mmを超えないようにご注意ください。

また、厚みが一定でないものは、読み取りができません。

※キャリアシート単体の厚みは0.2mmです。

読み取りできる原稿の紙質

原稿の紙質

● 読み取り精度は専用紙で保証しております。（保証環境は標準仕様参照）

● 読み取り原稿は、下記の用紙が適しています。

・上質紙　：60g/m^2

・トレーシングペーパー　：50～55g/m^2

・マイラー紙　：50 μm

・コピー紙

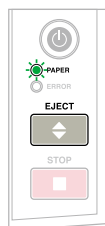
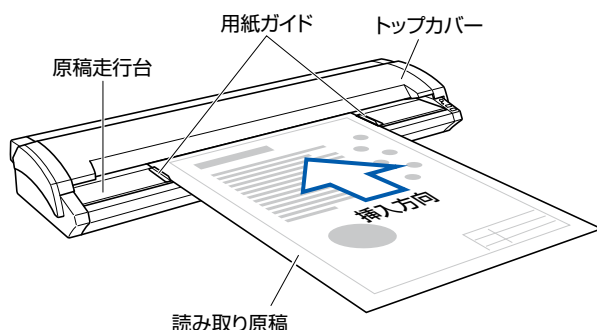
・ジアゾ感光紙

擦ったときにインクやトナーなどが写るような原稿を読み込む場合は、原稿の搬送経路が汚れ、それ以降の原稿を汚す場合がありますので、キャリアシートを使用してください。

3.2 原稿のセット

用紙ガイドの使用方法

原稿面（読み取り面）を上向きにして、スキャナーと原稿の中央部分を基準にしてフィードローラーに原稿の先端が突き当たるまでまっすぐに挿入します。

1. トップカバーが閉じている状態で、スキャナーの電源を投入します。
2. 用紙ガイドがマグネット吸着しますので、原稿の幅に合わせ両端にセットしてください。
3. 用紙ガイドの間に原稿を入れ、トップカバーと原稿走行台の隙間に原稿をまっすぐに挿入します。
4. ドライバーソフトで設定した遅延時間が経過すると、ローラが回転して原稿をスキャン開始位置まで自動的に送り込み、原稿がセットされます。（マニュアルローディング：OFF）
5. 用紙ガイドは、原稿が正しくセットされた後は外してください。用紙ガイドをそのままにしておくと、原稿が斜行した際に原稿を破損させる場合があります。

原稿をセットする場合には、以下の2つのモードが用意されています。（詳しくは、Scanning Master Pro Color「OPS115」取扱説明書（PDF）の「3章 読み込みの設定」参照）

● 原稿を挿入後に、設定した遅延時間が経過した後にローラが回転し、原稿をスキャン開始位置まで自動的に送り込みます。（マニュアルローディング：OFF）

● 原稿を挿入後に、[EJECT]ボタンを押すとローラが回転し、原稿をスキャン開始位置まで自動的に送り込みます。（マニュアルローディング：ON）

原稿をセットし直す場合は、[EJECT]ボタンを押して原稿を取り除いてから、再度セットしてください。

原稿がセットされると、[PAPER] LED（緑）が点灯します。

ヒント

原稿のセット時に、送り込みが止まっているのに [PAPER] LEDが点灯しない場合、[EJECT] ボタンを押すと原稿は排出せずに、再セットされて [PAPER] LEDが点灯します。

⚠注意

●原稿を斜めに挿入すると、画像の傾きやスキャンエラーの原因となります。原稿は用紙ガイドに沿って挿入してください。

●スキャナー本体の電源投入後は、遅延時間（自動引き込み時間）が3秒に設定されています。

●原稿面（読み取り面）を上向きにして、スキャナーにセットしてください。

●原稿走行台には、読み取り原稿以外何も置かないでください。スキャナーのローラが回転し大変危険です。

●原稿がカールしている場合は、正しく原稿送りが行えなかったり原稿を破損する可能性があります。その場合はキャリアシートをご使用ください。（「3.5 キャリアシート使用に関して」を参照ください）

●原稿はスキャナーの中央にセットしてください。大きく偏ると原稿が斜行し、正しく読み取れない場合があります。

●トップカバー左右のオープンレバーが確実にロックされていることを確認してください。どちらか片方のオープンレバーが解除されている状態で原稿をセットすると、原稿が斜行し正しく読み取れない場合があります。

3.3 原稿の材質と厚さによる取り扱い

ご使用の原稿の厚さや表面の状態等によっては、下記に示す現象が起こる可能性があります。

- ● 原稿がセットできない。
- ● 読み取り途中で止まる。
- ● 原稿がすべる。（イメージがズレる）
- ● 原稿の終端が読み取れない。

その場合は、以下の操作を行うことでこれらを回避できる場合があります。

<読み取り速度を調整する>

読み取り速度（スキャナのスピード）は、下記の表を目安にし、以下の手順で調整してください。

1. 付属のソフトウェア「**Scanning Master Pro Color（OPS115）**」を立ち上げ、**[読み込み]**画面を表示します。
2. **[原稿]**タブを選択し、設定している「**解像度（DPI）**」を確認します。
3. 次に**[オプション]**タブを選択し、確認した解像度の値に合わせて、「**スキャナのスピード**」のスライダーを動かします。

「スキャナのスピード」設定の目安（Scanning Master Pro Color「OPS115」で設定）

※Scanning Master Pro Color「OPS115」で、「品質」を「高品位」、「出力」を「グレー」に設定した場合。

※あくまでも目安ですので、原稿の種類や状態により異なる場合があります。

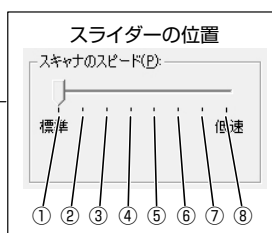
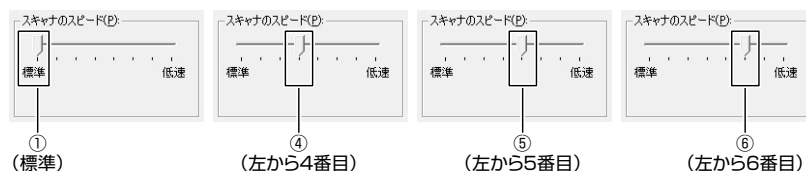
機種	原稿の厚み（mm）	解像度（DPI）					
		200	300	400	600	800	1200
CSX510-09	0.65～0.8	下図②の位置	下図①の位置（標準）	下図①の位置（標準）	下図①の位置（標準）	下図①の位置（標準）	下図①の位置（標準）
	0.8～1.6	下図④の位置	下図③の位置	下図④の位置	下図①の位置（標準）	下図①の位置（標準）	下図①の位置（標準）
CSX530-09	0.65～0.8	下図⑤の位置	下図⑤の位置	下図④の位置	下図⑤の位置	下図①の位置（標準）	下図①の位置（標準）
	0.8～1.6	下図⑦の位置	下図⑥の位置	下図⑥の位置	下図⑤の位置	下図⑥の位置	下図①の位置（標準）
CSX550-09	0.65～0.8	下図⑥の位置	下図⑥の位置	下図⑥の位置	下図⑤の位置	下図①の位置（標準）	下図①の位置（標準）
	0.8～1.6	下図⑧の位置	下図⑧の位置	下図⑧の位置	下図⑧の位置	下図①の位置（標準）	下図①の位置（標準）

[読み込み]画面

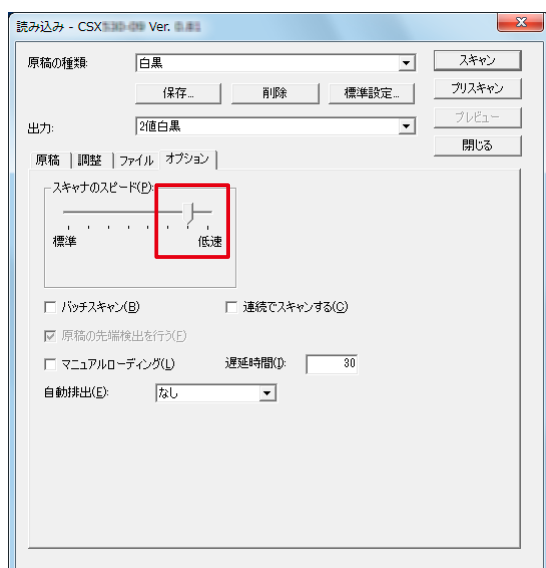
スライダーの位置

スキャナのスピード(P):

標準　低速

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧

Sacnning Master Pro Color「OPS115」で、「スキャンスピード」のスライダー位置は、下記の例を参照してください。

＜読み取り速度を下げる＞

1. 付属のソフトウェア「**Scanning Master Pro Color（OPS115）**」を立ち上げ、**[読み込み]**画面を表示します。

2. **[オプション]**タブを選択し、**「スキャナのスピード」**のスライダーを低速側に動かします。

＜原稿をスキャナーの前後で支える＞

原稿がスキャンできるように、原稿の前後をテーブルなどで支えてください。

3.4 距離補正

距離補正は、ドライバーソフトで行なえます。付属のドライバーソフト（Scanning Master Pro Color）では**「ツール」→「スキャナの調整」**メニューで距離補正を行ない、精度を合わせることができます。

調整機能は、読み取り後の図面の精度を元の図面の精度に近づける場合に設定を行います。（読み取る用紙の紙質による精度の微調整。

通常は、この調整を行う必要はありません。

調整方法

読み取る原稿の種類に合わせて、距離の補正を行います。

設定範囲は約± 1%未満で、スキャナーの電源を切断するまで有効です。距離補正は、事前に下記の手順で原稿に描かれた任意の垂直線を測定する必要があります。

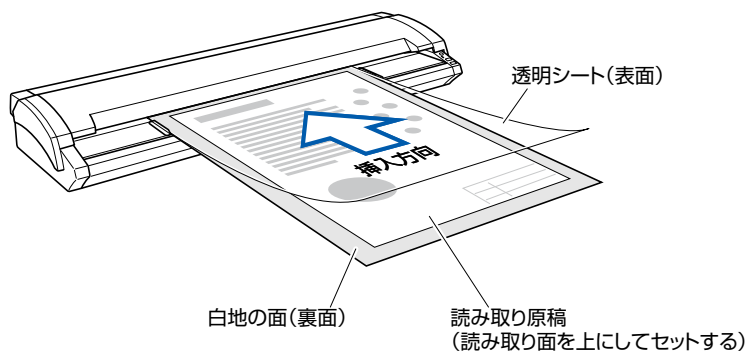
1. １本以上垂直線が描かれている原稿を選び、600dpi、ポートレート（縦）で読み取りを行います。
2. 原稿の垂直線の長さを測定し、その値を「x」（原稿上の距離）とします。
3. イメージデータの同じ垂直線の長さを表示メニューの相対測定の指定点間の距離コマンドで測定し、その値を「y」（読み取り後の距離）とします。
4. **[スキャナの調整]**ウィンドウの調整の**[距離補正]**ボタンをクリックし、**[距離補正]**ウィンドウを開きます。
5. 原稿上の距離「x」と読み取り後の距離「y」の値をそれぞれ入力します。入力する値は距離補正の範囲内で行います。
6. **[OK]**ボタンをクリックすると補正値が計算され、次回の読み込みから距離の補正が行われます。

3.5 キャリアシート使用に関して

キャリアシートは、読み取る原稿の状態に合わせてご使用ください。

なお、下記に示す原稿の場合は、キャリアシートを使用し原稿をセットしてください。

- A4サイズ未満の小さな原稿や定形外の原稿を読み取る場合。
- 軟らかい原稿を読み取る場合。（新聞紙程度の軟らかさ）
- 破れ易い又は傷付き易い原稿を読み取る場合。
- 著しく破損をしている原稿を読み取る場合。
- しわの多い原稿を読み取る場合。
- カールした原稿を読み取る場合。
- 透明・半透明な原稿を読み取る場合。
- 他の用紙等が貼り付けられた原稿を読み取る場合。
- 読み取り原稿がスキャン開始位置まで正常に送られない場合。
（読み取り原稿に癖が付き、スキャナーにセットしづらい場合など）

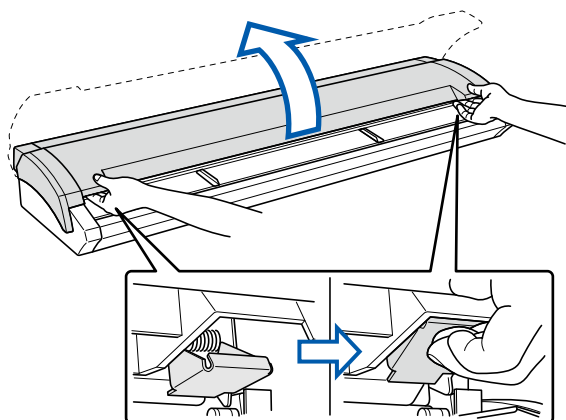
キャリアシートに原稿を挟む場合は、原稿の読み取り面を上側（透明シート側）にセットしてください。スキャナー読み取り時は原稿の読み取り面（透明シート側）を上向きにしてスキャナーにセットしてください。

確認

- **キャリアシートの取り扱いは、傷等をつけない様に十分注意してください。**
- **キャリアシートを使用してカラー原稿をスキャンする場合に、若干の色ズレが生じる場合があります。**
- **CSX510-09の場合、キャリアシートはオプション品です。**

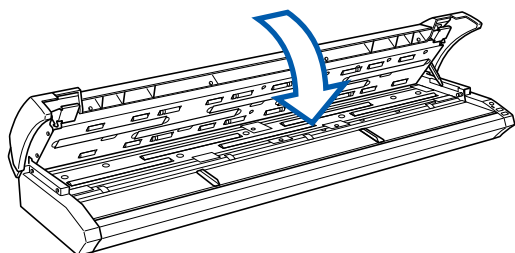
4章 日常のお手入れ

4.1 トップカバーの開閉

開き方

1. スキャナーの電源をOFFにします。
2. トップカバー左右のオープンレバーを両手で上方に持ち上げ、ロック解除後、そのまま完全（約47度）に開いてください。
3. 完全に開くと、トップカバーの固定ステーが働き固定されます。

閉め方

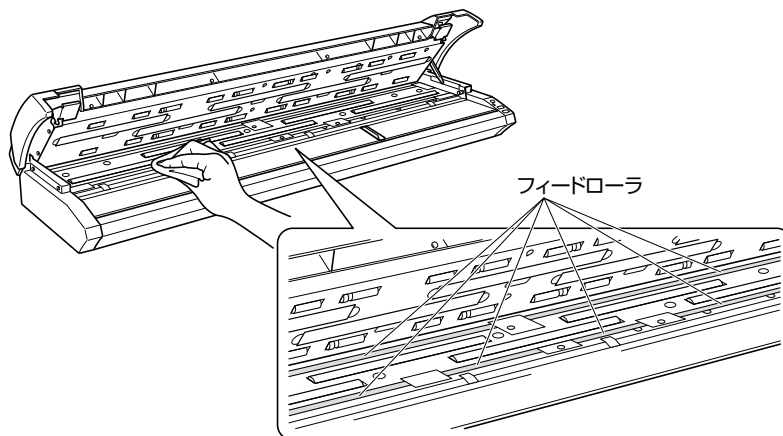
1. トップカバーが開いた状態から、両手で押しゆっくり閉めてください。
2. トップカバー左右のオープンレバーがロックされたことを確認してください。

確認

正しくロックされていない場合、ERROR LEDが点滅し読み込み動作は行えません。

⚠注意

- トップカバーの開閉時に指などを挟まないように注意してください。
- トップカバーを閉める場合、用紙ガイドを挟まないように、注意してください。

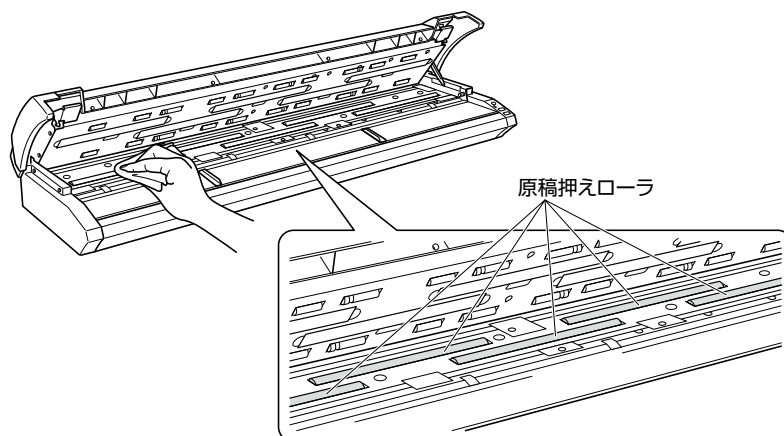
4.2 フィードローラの清掃

1. スキャナーの電源をOFFにします。
2. 「4.1 トップカバーの開閉」を参照し、トップカバーを開きます。
3. 軟らかい布に、水または中性洗剤（水で薄めたもの）を含ませ固くしぼり、フィードローラを手動で回転させながら汚れを拭き取ります。

4. 乾いた軟らかい布で、もう一度フィードローラを拭きます。（水気を完全に拭き取ってください）
5. 「4.1 トップカバーの開閉」を参照し、トップカバーを閉めます。

⚠注意

- **トップカバーの開閉時に指などを挟まないように注意してください。**
- **必ず、電源OFFの状態で行ってください。**
- **布などを隙間に挟み込まないようにしてください。**

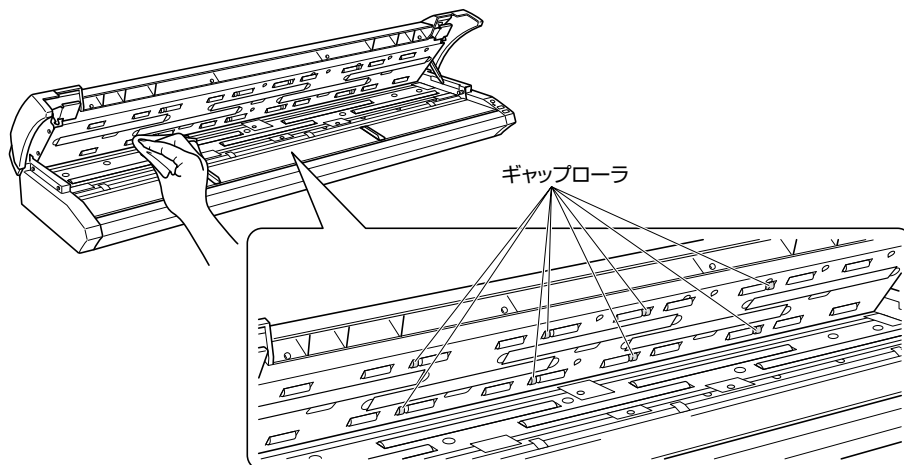
4.3 原稿押えローラの清掃

1. スキャナーの電源をOFFにします。
2. 「4.1 トップカバーの開閉」を参照し、トップカバーを開きます。
3. 軟らかい布に、水または中性洗剤（水で薄めたもの）を含ませ固くしぼり、原稿押えローラを手動で回転させながら汚れを拭き取ります。

4. 乾いた軟らかい布で、もう一度原稿押えローラを拭きます。（水気を完全に拭き取ってください）
5. 「4.1 トップカバーの開閉」を参照し、トップカバーを閉めます。

注意

- トップカバーの開閉時に指などを挟まないようにしてください。
- 原稿押えローラにキズや汚れが付くと、読み取りに影響がでる可能性があります。
- 必ず、電源OFFの状態で行ってください。
- 布などを隙間に挟み込まないようにしてください。

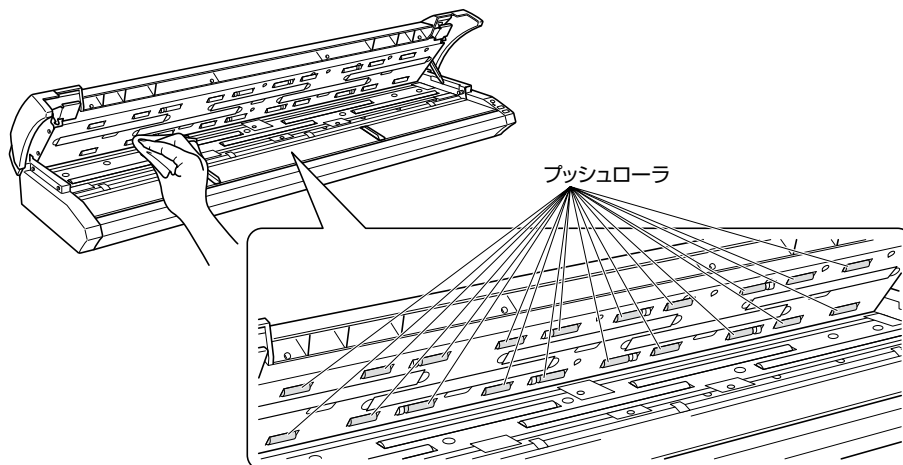
4.4 ギャップローラの清掃

1. スキャナーの電源をOFFにします。
2. 「4.1 トップカバーの開閉」を参照し、トップカバーを開きます。
3. 軟らかい布に、水または中性洗剤（水で薄めたもの）を含ませ固くしぼり、ギャップローラを手動で回転させながら汚れを拭き取ります。

4. 乾いた軟らかい布で、もう一度ギャップローラを拭きます。（水気を完全に拭き取ってください）
5. 「4.1 トップカバーの開閉」を参照し、トップカバーを閉めます。

⚠注意

●トップカバーの開閉時に指などを挟まないように注意してください。
●必ず、電源OFFの状態で行ってください。
●布などを隙間に挟み込まないようにしてください。

4.5 プッシュローラの清掃

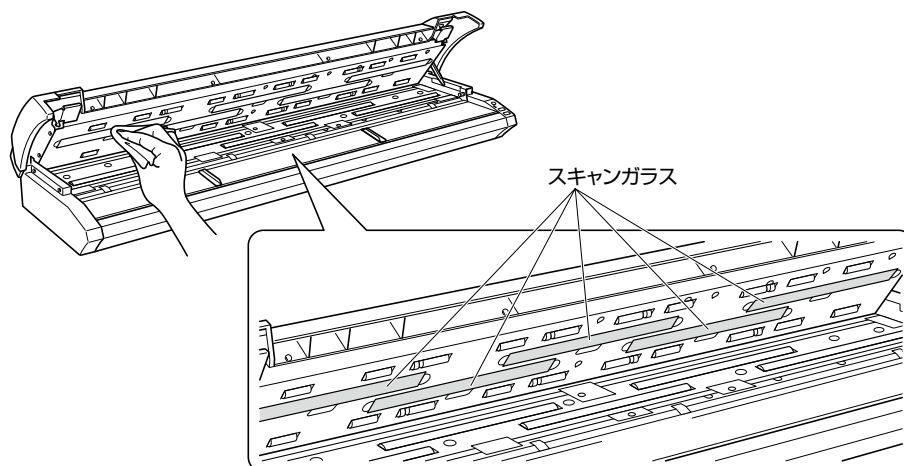
1. スキャナーの電源をOFFにします。
2. 「4.1 トップカバーの開閉」を参照し、トップカバーを開きます。
3. 軟らかい布に、水または中性洗剤（水で薄めたもの）を含ませ固くしぼり、プッシュローラを手動で回転させながら汚れを拭き取ります。

4. 乾いた軟らかい布で、もう一度プッシュローラを拭きます。（水気を完全に拭き取ってください）
5. 「4.1 トップカバーの開閉」を参照し、トップカバーを閉めます。

⚠注意

●トップカバーの開閉時に指などを挟まないように注意してください。
●必ず、電源OFFの状態で行ってください。
●布などを隙間に挟み込まないようにしてください。

4.6 イメージセンサ（スキャンガラス）の清掃

イメージセンサ上部のスキャンガラスが汚れると、画像品質が落ちますので適度に清掃する必要があります。

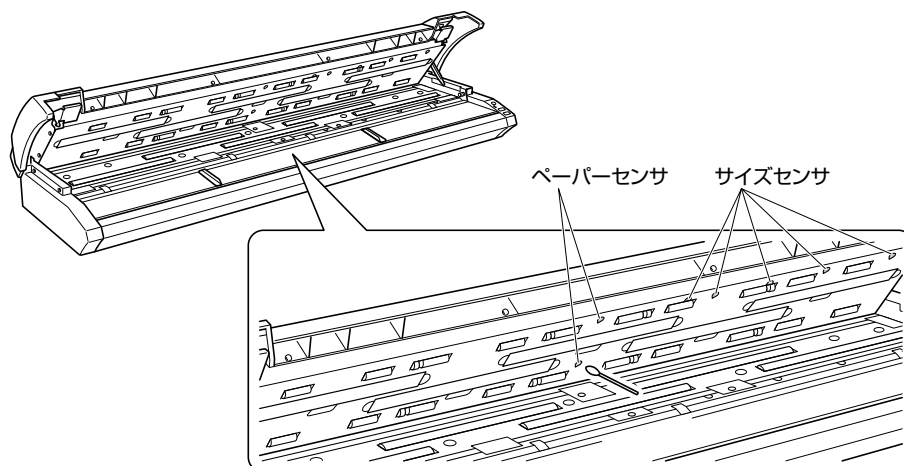
1. スキャナーの電源をOFFにします。
2. 「4.1 トップカバーの開閉」を参照し、トップカバーを開きます。
3. 軟らかい布に、水または中性洗剤（水で薄めたもの）を含ませ、固くしぼり、スキャンガラスの汚れを拭き取ります。

4. 乾いた軟らかい布で、もう一度スキャンガラスを拭きます。（水気を完全に拭き取ってください）
5. 「4.1 トップカバーの開閉」を参照し、トップカバーを閉めます。

注意

- **トップカバーの開閉時に指などを挟まないようにしてください。**
- **OAクリーナ、ガラスクリーナ、アルコール類等の化学溶剤は使用しないでください。また、スキャンガラスは消耗品です。細かなホコリやゴミなどにより、ガラス表面に小さな傷が付くことがあります。傷などにより原稿の読み取りに不具合が生じた場合（データ上に白線、黒線などが入る）は、キャリブレーション（「4.9 スキャナーの調整」を参照）を行ってください。キャリブレーションを行っても改善できない場合は、スキャンガラスの交換が必要となります。**

4.7 センサの清掃

ペーパーセンサやサイズセンサにホコリが溜まると原稿が読み取れない場合がありますので、適度に清掃する必要があります。

1. スキャナーの電源をOFFにします。
2. 「4.1 トップカバーの開閉」を参照し、トップカバーを開きます。
3. ペーパーセンサ（前後２カ所）またはサイズセンサ（５カ所）を綿棒で拭いてください。

4. 「4.1 トップカバーの開閉」を参照し、トップカバーを閉めます。

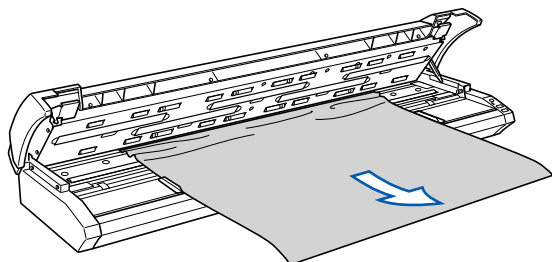
⚠注意

●トップカバーの開閉時に指などを挟まないようにしてください。
●ペーパーセンサやサイズセンサの清掃は、綿棒等の柔らかいもので軽くホコリを取ってください。また、薬品等は使用しないでください。

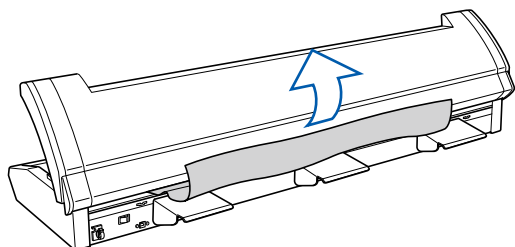
CSX510-09には、サイズセンサは付いていません。

4.8 紙づまりが発生した時は・・・

原稿読み込み最中等に紙づまりが発生した場合は、以下の手順でつまった原稿を取り除きます。

1. スキャナーの電源をOFFにします。
2. 「4.1 トップカバーの開閉」を参照し、トップカバーを開きます。
3. 手前側で原稿がつまった場合は、原稿を手前に引き出して取り除きます。

4. 後ろ側で原稿がつまった場合は、原稿を後側に引き出し取り除きます。

5. 「4.1 トップカバーの開閉」を参照し、トップカバーを閉めます。

⚠注意

●トップカバーの開閉時に指などを挟まないようにしてください。
●原稿を取り除く際、原稿を傷つけないようゆっくり引き出してください。

4.9 スキャナーの調整

ドライバーソフト「Scanning Master Pro Color」（OPS115）を使用して、スキャナーの調整（キャリブレーション）を行います。

キャリブレーションは、以下のようなスキャナーの読み取り画質が悪くなった場合に行います。

・読み取った画像データが乱れる

・読み取った画像データに部分的な色むらが出る

※用紙の折れ目・しわ・曲がりぐせなど原稿の質が原因のものは除きます。

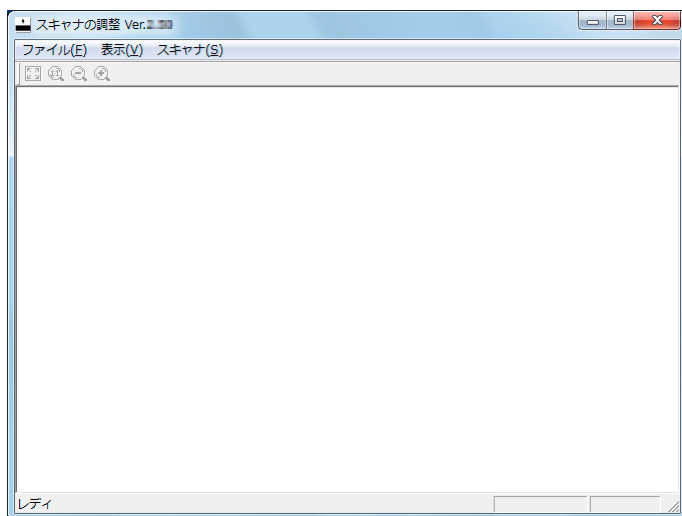
事前の準備と確認

推奨動作環境

◆ モニタ：1024×768　High Color以上

色数が少ないと、異常箇所の指定が難しくなる場合があります。

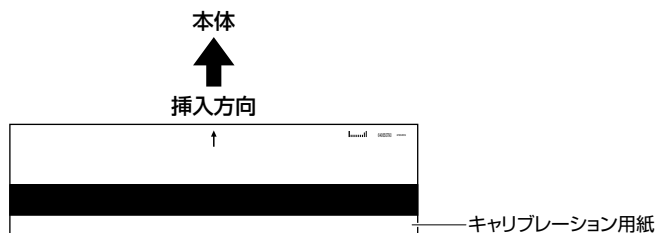
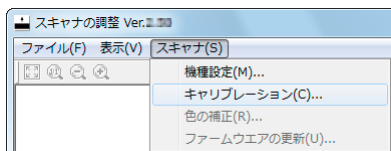
スキャナーの調整プログラムの起動

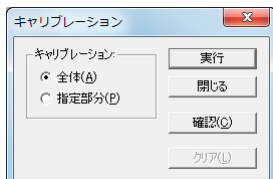
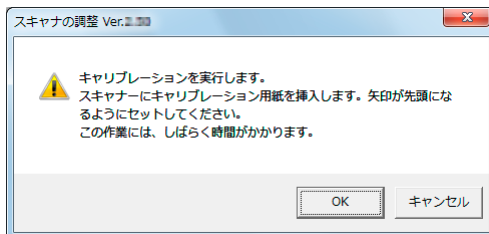
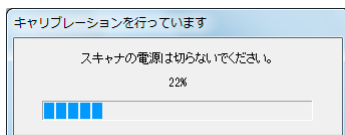
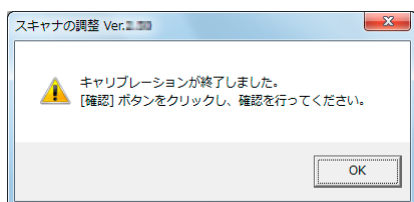
1. スキャナー本体とコンピューターを接続しスキャナー本体の電源を投入後、コンピューターの電源を投入します。
2. **「Scanning Master Pro Color」**（OPS115）をまだインストールされていない場合は、インストールします。
3. **［スタート］**をクリックし、**「プログラム」**の**「Scanning Master Pro Color」**の**「スキャナの調整」**をクリックします。
4. スキャナーの調整プログラムが起動します。

5. **「スキャナ」**メニューより、行いたい項目を選択します。

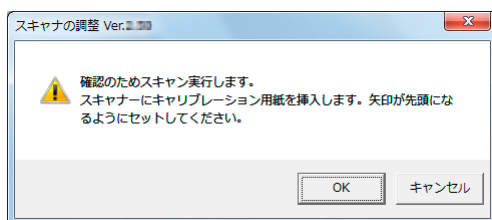
キャリブレーション

作業前に本体内部のスキャンガラスの清掃、本体のテーブル面（原稿走行台）の清掃をしてください。ホコリやゴミ等があった場合、正しいキャリブレーションが行われず、画質に影響が出る場合があります。

キャリブレーション用紙に、ホコリやゴミ等が付着していないか確認してください。

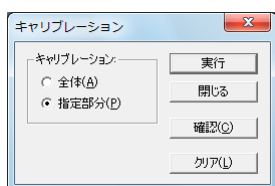
⚠注意
- **キャリブレーション作業は多少時間がかかりますが、作業中はスキャナーの電源をOFFにしないでください。誤って電源をOFFにした場合、サービス対応が必要な故障となる場合があります。**
- **キャリブレーション用紙は、折れ曲がったりしないように大切に取り扱ってください。汚れが付かないように箱に入れて保管してください。**
- **キャリブレーション用紙は消耗品です。折れ曲がったり汚れが付いた状態では使用できません。**
- **キャリブレーション用紙は紙製です。液体を使用して汚れを清掃できません。**

1. **「スキャナの調整プログラム」**を起動し、**「スキャナ」**メニューを表示します。（前項参照）

「キャリブレーション」を選択します。

2. 下記のように表示されますので、**「全体」**を選択し**［実行］**をクリックします。

3. 下記のように表示されますので、メッセージに従いキャリブレーション用紙をスキャナーに挿入します。

4. **［OK］**をクリックすると、キャリブレーションが開始されます。

5. キャリブレーションは約10分で終了します。（キャリブレーション時間は機種によって異なります。）

［OK］をクリックし、終了します。

6. キャリブレーション結果を確認するため、**「スキャナ」**メニューの**「キャリブレーション」**（2.の表示）で**［確認］**をクリックします。
7. 下記のように表示されます。メッセージに従い、もう一度キャリブレーション用紙をスキャナーに挿入します。

8. **［OK］**をクリックするとスキャンが開始されます。

   スキャン終了後、読み取ったデータが表示されます。キャリブレーション時の異常ヶ所の判断を容易にするため、センサ毎に若干色が違って見えますがこれは異常ではありません。

   読み取ったデータ中に、白抜けなどの縦スジ状のデータがないことを確認します。（キャリブレーション時に、ホコリやゴミなどに付着により正常にできなかった場合、縦スジ状のデータになります）
9. データに異常がなければ、キャリブレーション作業は終了です。**［閉じる］**をクリックし、**「スキャナの調整プログラム」**を終了してください。
10. データに異常があった場合は、以下の手順で異常箇所を指定します。

    「スキャナ」メニューの**「キャリブレーション」**で、**「指定部分」**を選択します。

11. マウスをデータ上に持っていくと、十字カーソルになりますので、スジ状のデータの上に重ねて左クリックします。左クリックすると選択され青で表示されます。スジ数が複数ある場合は、この作業を繰り返します。

    既に選択した部分（青く表示されている部分）を再び左クリックすると選択が解除されます。

    選択した部分を全て解除する場合は、**［クリア］**をクリックします。
12. 指定が終わったらキャリブレーション用紙を一旦取り出し、スキャンガラスの清掃、本体のテーブル面（原稿走行台）の清掃、キャリブレーション用紙へのゴミ等の付着がないかを確認します。
13. **［実行］**をクリックし、表示されるメッセージに従い操作します。3～5工程と同じ手順になります。（キャリブレーションの時間は、設定した数により変わります）
14. 再度8～10の工程を行い、キャリブレーション作業の結果を確認します。

キャリブレーション作業の繰り返しで改善されない場合は、スキャナー内部の異常の可能性があります。ご購入先または弊社営業所までご連絡ください。

5章　動作異常時の確認と対処

スキャナーの動作に異常と思われる現象が現れた場合は、次の内容をご確認ください。

5.1　電源を投入したが全く動作しない

原因	対策
電源ケーブルが外れていませんか。	電源ケーブルをしっかりと差し込みます。
電源・電圧は規定の仕様ですか。	必ず、規定の電源・電圧をお使いください。
電源コンセントに電圧がきていますか。	電源をチェックしてください。

5.2　コンピューターと接続したが正常に動作しない

原因	対策
アースが外れていませんか。	アースを取ってください。
コンピューターとスキャナーのUSBケーブルに異常はありませんか。	ケーブル側のコネクタに異常（曲がり等）がないか確認してください。また、ケーブルは奥まで確実に差し込んでください。
USB2.0非対応のUSBケーブルを使用していませんか。	USB2.0対応のUSBケーブルを使用してください。
拡張USBカードを使用していませんか。	USB2.0インタフェース拡張カードには対応していません。コンピューターに標準で搭載していないUSBポートでの接続は、動作保証外となります。
Graphtec Network Utilityが接続されていますか。（ネットワーク接続の場合）	Graphtec Network Utilityを接続してください。

GRAPHTEC Network Utilityのステータスが、「通信エラー」になっていて接続ができない。

原因	対策
ネットワーク環境に異常がありませんか。	ネットワーク環境を通常に戻してください。
HUBの電源を入れる前にスキャナーの電源を入れていませんか。（一部のHUBとの接続では、後からHUBの電源を入れるとスキャナーが認識できない場合があります）	一旦、スキャナーの電源を切り、しばらくたった後、再び電源を入れてください。
スキャナーが省電力モードになっていませんか。	スキャナーは省電力モード時、ネットワークインタフェースを休止状態とします。 スキャナー本体の操作パネルのボタンを押す等して、省電力モードから復帰させてください。

5.3　操作パネルのERROR LEDが赤く点灯する

原因	対策
スキャナー本体のセルフテストで、ROM・RAM等のハードウェアにエラーが発生しています。	スキャナー本体内部の異常です。ご購入先または、弊社営業所までご連絡ください。

5.4 操作パネルのERROR LEDが赤く点滅する

原因	対策
電源投入時にスキャナー内部に原稿が残っていませんか。	カバーを開き原稿を取り出します。 (「4.8 紙づまりが発生した時は・・・」参照)
スキャン動作中、または原稿が入った状態でトップカバーを開けた。	操作パネルのSTOPスイッチを押して、エラーを解除します。 その後、EJECTスイッチで原稿を移動させ取り出します。
原稿のつまりを検出した場合。	カバーを開き原稿を取り出します。 (「4.8 紙づまりが発生した時は・・・」参照)
原稿の長さが、ドライバーで設定した用紙サイズの長さより短くありませんか。	ドライバーで用紙終端の処理を「確認する」に設定している場合、用紙の終端を検出した後、用紙終端の処理を決定するまでの間 ERROR LEDが点滅します。ドライバーの指示に従って設定をしてください。
トップカバーが開いていませんか。	トップカバーがロックされるまで確実に閉めます。 (「4.1 トップカバーの開閉」参照)

5.5 原稿をスキャン開始位置まで正常に送り込まない

原因	対策
読み取り原稿にロール等の癖が付いている。また、読み取り原稿の厚みが薄い場合など、原稿状態があまり良くない。	キャリアシートを利用し原稿をセットしてください。 (「3.5 キャリアシート使用に関して」参照)
ペーパーセンサにホコリが溜まっていませんか。	ペーパーセンサの清掃をしてください。 (「4.7 センサの清掃」参照)
読み取り原稿が厚い、もしくは重くはありませんか。	原稿の厚さ、重さによって起こる可能性があります。その場合は、原稿挿入時に手で支えるか、スキャンスピードを下げてください。それでも改善できない場合は、これら両方を行ってください。
厚紙原稿が長尺ではありませんか。	手を添えながら原稿をセットしてください。

5.6 読み取り後の画像データが真白か真黒になる

原因	対策
読み取り原稿の表裏が反対になっていませんか。	読み取り原稿の原稿面(読み取りたい面)を上向きにしてスキャナーにセットしてください。
読み込み条件の設定が原稿に対して適正ですか。	読み込み条件を確認して、再度設定してください。

5.7 画像品質が落ちる

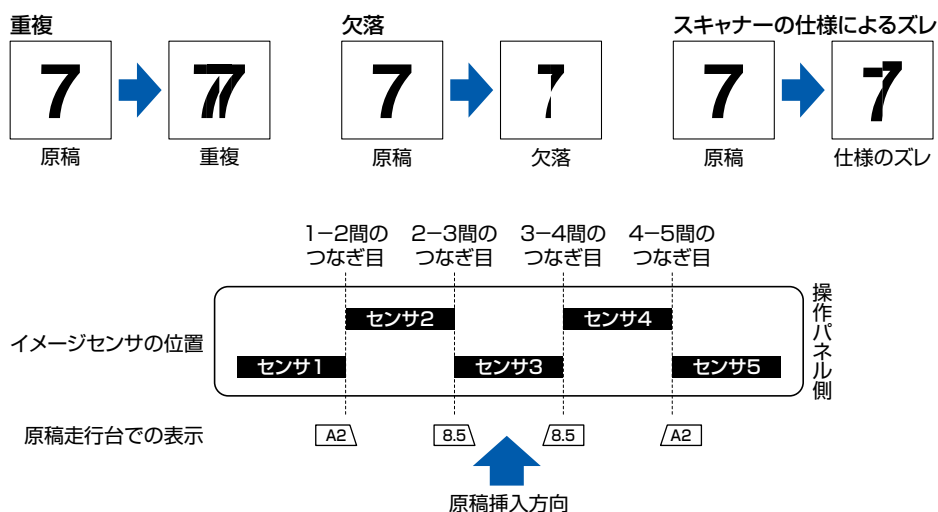
原因	対策
イメージセンサ上部のスキャンガラスが汚れていませんか。	イメージセンサ上部のスキャンガラスを清掃してください。(「4.6 イメージセンサの清掃」参照)
透明・半透明の原稿でキャリアシートを使用していない。	キャリアシートを使用してください。 (「3.5 キャリアシート使用に関して」参照)

5.8 取り込んだデータにズレがある

原因	対策
イメージセンサのつなぎ目にズレが生じた。（つなぎ目の詳細は下図参照）	つなぎ微調整はドライバーソフトで行えます。付属のドライバーソフト（Scanning Master Pro Color）の「ツール／スキャナの調整」メニューでつなぎ微調整を行い、つなぎを合わせます。

確認

スキャナーは工場出荷時に高精度に調整されておりますが、周囲環境などにより、ごくまれにつなぎズレが発生する場合があります。また、ドライバーソフトで微調整のできるズレは「欠落」と「重複」です。スキャナーの仕様によるズレは、ドライバーでの調整はできません。

注意

原稿を上向きにセットしてスキャンするため、ドライバーソフトでのディスプレイ画面表示では、左側がセンサ１になります。

5.9 データに原稿にない陰のようなデータが出る

原因	対策
写真原稿など、表面に光沢のある原稿を読み込ませた。	表面に光沢のある用紙をスキャンする場合は、キャリアシートにはさんでスキャンしてください。

5.10 データに色の濃淡が発生する

原因	対策
本機には、複数の密着センサを使用しており、センサの特性を調整しておりますが、原稿の種類により、若干の色の濃淡が出る場合があります。	ドライバーソフト（Scanning Master Pro Color）の色調整の機能を使用して、近い色を１つの色にする等の操作をしてください。
しわの多い、カールの大きい原稿を読み込ませた。	しわ、カールなどがある原稿をスキャンする場合は、キャリアシートにはさんでスキャンしてください。

5.11 原稿の長さとデータの長さが異なる

原因	対策
本機は精度補正用の専用紙にて距離精度を調整しています。ご使用になる原稿の種類により、精度が変わる場合があります。	距離補正は、ドライバーソフトで行なえます。 付属のドライバーソフト(Scanning Master Pro Color)では、「ツール/スキャナの調整」メニューで距離補正を行い、精度を合わせてください。

5.12 原稿にない縞またはモアレがデータ上に発生する

原因	対策
網点などで構成された原稿をスキャンした。	網点などのデータは、設定した解像度などの関係で、縞状またはモアレ(模様)のデータとなることがあります。これは仕様によるもので、故障ではありません。なお、縞状またはモアレ(模様)は、解像度を変えることで軽減する場合があります。

5.13 読み取った画像が乱れる

原因	対策
スキャナーの読み取り画質が悪くなった。	キャリブレーションを実施してください。 (「4.9 スキャナーの調整」参照)
アースが外れていませんか。	アースを取ってください。

5.14 読み取った画像データに部分的な色むらが出る

原因	対策
スキャナーの読み取り画質が悪くなった。	キャリブレーションを実施してください。 (「4.9 スキャナーの調整」参照)
カラー原稿にキャリアシートを使用している。	キャリアシートを使用しない。

5.15 原稿が正しく送られない

原因	対策
原稿送りにムラがある。(イメージが間延びする) 原稿送りが止まる場合がある。	原稿の重さ・長さ等によって起こる可能性があります。その場合は、原稿挿入時に手で支えるか、スキャンスピード下げるか、両方を行ってくだい。
原稿が傾いてセットされている。	原稿をセットしなおしてください。

5.16 自動傾き補正が正しく機能しない

原因	対策
半透明な原稿（マイラーペーパー、トレーシングペーパーなど）や外周が乱れている原稿などを使用している。	自動傾き補正では、「原稿の先端」を検出して補正角度を計算しております。 原稿によって「原稿の先端」が正しく検出できない場合、自動傾き補正では期待した結果が得られない可能性があります。 その場合、読み取り後に付属のドライバーソフト（Scanning Master Pro Color）の「ツール／傾き補正」にて、手動での傾き補正を行ってください。
キャリアシートを使用している。	キャリアシートを使用しないでください。

付録A　オプション品、消耗品について

オプション品等をお求めの場合は、弊社営業所または、お買い上げの販売店までお問い合わせください。

オプション品、消耗品

型名	品名
IS0922	キャリアシート（A0）
IS0908	キャリアシート（A1）
IS0932	キャリブレーション調整用紙
EM-CP	クリーニングペーパー（50枚入り）

付録B　標準仕様

項目		CSX510-09
原稿サイズ		JIS A0～JIS A4、JIS B1～JIS B4 最大幅：965mm、最小幅：257mm
読み取り範囲		幅　：932.2mm（センター基準） 長さ：999.99999m※1（ソフト上での読み取り長さ設定可能範囲）
読み取り精度保証範囲※2		841×1189mm
原稿厚み		1.6mm以下（キャリアシート含む）
光学解像度		600dpi
補間解像度		50dpiから1刻み　最大4800dpi
主走査方式		密着イメージセンサ方式（A4センサ5本を千鳥配列）
副走査方式		原稿移動（シートスルー）方式
読み取り面		上面（フェイスアップ）
読み取り速度※3		400dpi、JISA0 高速スキャン時：・モノクロ：16s　・グレー：16s　・24bitカラー：44s 標準スキャン時：・モノクロ：30s　・グレー：30s　・24bitカラー：85s 高品位スキャン時：・モノクロ：31s　・グレー：31s　・24bitカラー：86s
読み取り精度※2		±0.1%以下または±1pixelのいずれか大きい方
階調	モノクロ	2値、中間調（ディザ、誤差拡散）
	グレー	256階調
	グレーバランス	256階調
	カラー	24bit、8bit
色空間		sRGB、Adobe RGB
センサ	総画素数	22,020画素
	出力	カラー：48bit/画素、グレー：16bit/画素
	光源	LED（RGB）
インタフェース		USB2.0（ハイスピード）
出力		イメージデータ
定格電源		AC100～120V／200～240V ±10%、50/60Hz
使用環境		温度：10～35℃、湿度：35～80% R.H.（結露なきこと）
消費電力		42W※4（省電力モード時：3W以下）
外形寸法		約1097（W）×972（H）×717（D）mm
質量（重さ）		約39kg

※1 実際の読み取りではコンピューターのメモリ、ハードおよび原稿の状態により制限を受けます。

また、長尺の読み取りは保証範囲の対象外となります。原稿のセットおよび状態により斜行が発生する場合があり、原稿を傷めたり読み取りができないことがあります。この場合も保証の対象外となりますので、原稿の取り扱いやセットには十分ご注意ください。

※2 読み取り精度に関して。

読み取り精度は、読み取る用紙の紙質、紙厚および使用環境により多少異なる場合があります。本機の精度は下記の環境にて測定しています。

・専用テストチャート：マイラー＃300

・精度保証使用環境：温度 20℃±3℃、湿度 60%±10% R.H.

・読み取り条件：600dpi、高品位（グレー）

※3 データ転送時間を含む。

読み取り時間測定環境

・CPU：Core 2 Duo 2.5GHz　・メモリ：4Gバイト　・インタフェース：USB2.0

PC環境やスキャン条件により読み取り速度が低下する場合があります。

※4 動作時の平均消費電力。

項目		CSX530-09
原稿サイズ		JIS A0～JIS A4、JIS B1～JIS B4 最大幅：965mm、最小幅：257mm
読み取り範囲		幅　：932.2mm（センター基準） 長さ：999.99999m※1（ソフト上での読み取り長さ設定可能範囲）
読み取り精度保証範囲※2		841×1189mm
原稿厚み		1.6mm以下（キャリアシート含む）
光学解像度		600dpi
補間解像度		50dpiから1刻み　最大9600dpi
主走査方式		密着イメージセンサ方式（A4センサ5本を千鳥配列）
副走査方式		原稿移動（シートスルー）方式
読み取り面		上面（フェイスアップ）
読み取り速度※3		400dpi、JISA0 高速スキャン時：・モノクロ：7s　・グレー：7s　・24bitカラー：17s 標準スキャン時：・モノクロ：12s　・グレー：12s　・24bitカラー：31s 高品位スキャン時：・モノクロ：13s　・グレー：13s　・24bitカラー：32s
読み取り精度※2		±0.1%以下または±1pixelのいずれか大きい方
階調	モノクロ	2値、中間調（ディザ、誤差拡散）
	グレー	256階調
	グレーバランス	256階調
	カラー	24bit、8bit
色空間		sRGB、Adobe RGB
センサ	総画素数	22,020画素
	出力	カラー：48bit/画素、グレー：16bit/画素
	光源	LED（RGB）
インタフェース		USB2.0（ハイスピード）
出力		イメージデータ
定格電源		AC100～120V／200～240V ±10%、50/60Hz
使用環境		温度：10～35℃、湿度：35～80% R.H.（結露なきこと）
消費電力		42W※4（省電力モード時：3W以下）
外形寸法		約1097（W）×972（H）×717（D）mm
質量（重さ）		約39kg

※1 実際の読み取りではコンピューターのメモリ、ハードおよび原稿の状態により制限を受けます。

また、長尺の読み取りは保証範囲の対象外となります。原稿のセットおよび状態により斜行が発生する場合があり、原稿を傷めたり読み取りができないことがあります。この場合も保証の対象外となりますので、原稿の取り扱いやセットには十分ご注意ください。

※2 読み取り精度に関して。

読み取り精度は、読み取る用紙の紙質、紙厚および使用環境により多少異なる場合があります。本機の精度は下記の環境にて測定しています。

・専用テストチャート：マイラー＃300

・精度保証使用環境：温度 20℃±3℃、湿度 60%±10% R.H.

・読み取り条件：600dpi、高品位（グレー）

※3 データ転送時間を含む。

読み取り時間測定環境

・CPU : Core 2 Duo 2.5GHz　・メモリ：4Gバイト　・インタフェース：USB2.0

PC環境やスキャン条件により読み取り速度が低下する場合があります。

※4 動作時の平均消費電力。

項目		CSX550-09
原稿サイズ		JIS A0～JIS A4、JIS B1～JIS B4 最大幅：965mm、最小幅：257mm
読み取り範囲		幅　：932.2mm（センター基準） 長さ：999.99999m※1（ソフト上での読み取り長さ設定可能範囲）
読み取り精度保証範囲※2		841×1189mm
原稿厚み		1.6mm以下（キャリアシート含む）
光学解像度		1200dpi
補間解像度		50dpiから1刻み　最大9600dpi
主走査方式		密着イメージセンサ方式（A4センサ5本を千鳥配列）
副走査方式		原稿移動（シートスルー）方式
読み取り面		上面（フェイスアップ）
読み取り速度※3		400dpi、JISA0 高速スキャン時：・モノクロ：7s　・グレー：7s　・24bitカラー：15s 標準スキャン時：・モノクロ：11s　・グレー：11s　・24bitカラー：28s 高品位スキャン時：・モノクロ：12s　・グレー：12s　・24bitカラー：29s
読み取り精度※2		±0.1%以下または±1pixelのいずれか大きい方
階調	モノクロ	2値、中間調（ディザ、誤差拡散）
	グレー	256階調
	グレーバランス	256階調
	カラー	24bit、8bit
色空間		sRGB、Adobe RGB
センサ	総画素数	44,040画素
	出力	カラー：48bit/画素、グレー：16bit/画素
	光源	LED（RGB）
インタフェース		USB2.0（ハイスピード） ネットワーク（Ethernet 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T）
出力		イメージデータ
定格電源		AC100～120V／200～240V ±10%、50/60Hz
使用環境		温度：10～35℃、湿度：35～80% R.H.（結露なきこと）
消費電力		55W※4（省電力モード時：3W以下）
外形寸法		約1097（W）×972（H）×717（D）mm
質量（重さ）		約39kg

※1 実際の読み取りではコンピューターのメモリ、ハードおよび原稿の状態により制限を受けます。

また、長尺の読み取りは保証範囲の対象外となります。原稿のセットおよび状態により斜行が発生する場合があり、原稿を傷めたり読み取りができないことがあります。この場合も保証の対象外となりますので、原稿の取り扱いやセットには十分ご注意ください。

※2 読み取り精度に関して。

読み取り精度は、読み取る用紙の紙質、紙厚および使用環境により多少異なる場合があります。本機の精度は下記の環境にて測定しています。

・専用テストチャート：マイラー＃300

・精度保証使用環境：温度 20℃±3℃、湿度 60%±10% R.H.

・読み取り条件：600dpi、高品位（グレー）

※3 データ転送時間を含む。

読み取り時間測定環境

・CPU : Core 2 Duo 2.5GHz　　・メモリ : 4Gバイト　　・インタフェース: USB2.0

PC環境やスキャン条件により読み取り速度が低下する場合があります。

※4 動作時の平均消費電力。

付録C　外観図

■CSX510-09/CSX530-09/CSX550-09

単位　　　：mm
寸法公差 ：±5mm

索引

数字

アルファベット

D

E

G

I

N

O

P

S

U

V

かな

あ

い

う

お

か

き

く

け

こ

さ

し

す

せ

そ

ち

て

と

に

ね

は

ひ

ふ

へ

ほ

ま

ゆ

よ

り

グラフテック製品お問い合わせ窓口

グラフテック製品に関して、ご相談・ご用命を承ります

この商品の操作に関するお問い合わせは、下記のコールセンターにご連絡ください。

●ナビダイヤル：0570－016262（コールセンター）

ただし、通話地域制限がある内線電話からはご利用できません。全国通話ができる電話機をご使用ください。
また、携帯電話をご使用の場合、ナビダイヤルにつながらない事があります。その場合は、045-825-6382におかけください。

サプライ品および製品修理に関して、ご相談・ご用命を承ります

ご採用いただいた製品を常に最良の状態でお使いいただき、そして万一の故障修理がお客様の近くで迅速にサービスできるように、サービス拠点を配置しています。サービスおよび純正サプライ品についてのご相談・ご用命は、当社製品販売代理店、または下記のコールセンターへお問い合わせください。

●ナビダイヤル：0570－016262（コールセンター）

グラフテック製品に関する最新情報やサポート情報は、こちらのURLからご覧いただけます。

http://www.graphtec.co.jp

●本書の記載事項は、お断りなく変更することがありますのでご了承ください。

CSX500 SERIES 取扱説明書 2011年 6月22日発行
（CSX500-UM-102） 第1版

発 行 横浜市戸塚区品濃町503-10
グラフテック株式会社